

官報

號外 昭和十三年三月十日

○第七十三回貴族院議事速記録第二十一號

昭和十三年三月九日(水曜日)午前十時三十分開議

議事日程第二十一號

昭和十三年三月九日

午前十時開議

第一 農地調整法案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第二 市街地建築物法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三 有價證券取締法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマ

(右橋書記官朗讀)

昨八日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

重要礦物増產法案特別委員會

委員長 伯爵副島 道正君

副委員長 男爵松田 正之君

不動産融資及損失補償法中改正法律案特別委員會

委員長 男爵園田 武彦君

副委員長 子爵西大路吉光君

有價證券引受業法案特別委員會

委員長 子爵三宅戶敬光君

副委員長 男爵高橋 弓彦君

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

昭和十二年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

官報號外 昭和十三年三月十日 貴族院議事速記録第二十一號

昭和十二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

臨時軍事費豫算追加案(臨第一號)

昭和十三年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

昭和十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

農地調整法案

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通第七十三回帝國議會政府委員仰付ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

遞信省所管事務政府委員 大野 勝三君

遞信書記官

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、農地調整法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、有馬農林大臣

(左ノ送付文及法案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノクメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ)

農地調整法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十三年三月八日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

(小字及ハ衆議院ノ修正ナリ)

農地調整法案

農地調整法

第一條 本法ハ。互讓相助ノ精神ニ則リ。農業生産力ノ維持増進ヲ圖リ以テ農村ノ經濟更生及農村平和ノ保持ヲ期スル爲メ農地關係ノ調整ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二條 本法ニ於テ農地トハ耕作ヲ目的トスル土地ヲ謂フ

第三條 農地ノ所有者又ハ耕作者ハ兵役其ノ他命令ヲ以テ定ムル事由ニ因リテ農地ヲ自ラ耕作シ又ハ管理スルコト能ハザルトキハ市町村其ノ他命令ヲ以テ定ムル團體ニ農地ノ管理又ハ買取ノ申出ヲ爲スコトヲ得

前項ノ申出アリタル場合ニ於テハ同項ノ團體ハ命令ヲ定ムル所ニ依リ農地ノ管理又ハ買取ヲ爲スコトヲ得

第四條 道府縣、市町村其ノ他命令ヲ以テ定ムル團體ガ農村ノ經濟更生ノ爲メ命令ヲ定ムル所ニ依リ自作農創設維持ハ農地ノ貸付ノ事業ヲ行フ場合ニ於テ之ニ要スル土地ヲ取得シ又ハ使用スルノ必要アルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ土地ノ所有者其ノ他之ニ關シ權利ヲ有スル者ニ對シ土地ノ讓渡又ハ使用收益ノ權利ノ設定若ハ讓渡ニ關スル協議ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ團體ガ未墾地ヲ開發シテ同項ノ事業ヲ行ハントスル場合ニ於テ同項ノ規定ニ依ル協議調ハザルトキハ開發セシタル未墾地其ノ他其ノ開發ニ必要ナル土地又ハ其ノ使用收益ノ權利ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ關シテハ土地收用法ヲ適用ス

第五條 行政官廳農村ノ經濟更生ノ爲メ必要アリト認ムルトキハ農地ノ所有者ヲシテ農地處分ニ當リ命令ヲ定ムル所ニ依リ豫メ市町村農地委員會ニ其ノ旨ヲ通知セシムルコトヲ得

第六條 命令ヲ以テ定ムル自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル自作地ノ所有者ハ命令ヲ定ムル場合ヲ除クノ外行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ自作地ノ讓渡若ハ貸付ヲ爲シ又ハ之ニ付物權ヲ設定スルコトヲ得ズ

第七條 前條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル自作地ニ付テハ其ノ旨ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ登記ヲ爲スニ非ザレバ前條ノ自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル自作地タルコトヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第一項ノ規定ニ依ル登記ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條 農地ノ貸借ハ其ノ登記ナキモ農地ノ引渡アリタルトキハ爾後其ノ農地ニ付物權ヲ取得シタル者ニ對シ其ノ效力ヲ生ズ

民法第五百六十六條第一項及第三項ノ規定ハ登記セザル貸借ノ目的タル農地ガ賣買ノ目的物ナル場合ニ之ヲ準用ス

民法第五百三十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條 農地ノ貸借人ハ貸借人。ガ有智スベキ事情ナキニ拘ラズ小作料ヲ納メタルニ反シタル行爲ナキ限り貸借ノ解約ヲ爲シ又ハ更新ヲ拒ムコトヲ得ズ但シ土地使用ノ目的ノ變更又ハ貸借人ノ自作ヲ相當トスル場合其ノ他正當ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

當事者ガ農地ノ貸借ノ期間ヲ定メタルトキハ當事者ガ期間満了前六月乃至

明治二十五年三月三十一日

第三種郵便物認可

二四九

一年內ニ相手方ニ對シ更新拒絶ノ通知
又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ更新セ
ザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ從前ノ
貸賃借ト同一ノ條件ヲ以テ更新賃賃借
ヲ爲シタルモノト看做ス但シ賃賃人ノ
疾病ニ因リテ自ラ耕作スルコト能ハザ
ル爲其ノ他特別ノ事由ニ因リテ一時賃
賃借ヲ爲シタルコト明ナル場合ハ此ノ
限ニ在ラズ

農地ノ賃賃借ノ當事者賃賃借ノ解約ヲ
爲シ又ハ更新ヲ拒マントスルトキハ命
令ノ定ムル所ニ依リ豫メ其ノ旨ヲ市町
村農地委員會ニ通知スベシ

第二項並ニ民法第六百十七條及第六百
十八條ノ規定ニ異ル小作條件ニシテ賃
借人ニ不利ナルモノハ之ヲ定メザルモ
ノト看做ス

第十條 小作關係ノ爭議ニ付公益上必要
アリト認ムルトキハ小作官ハ小作調停
法ニ依リ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得
小作關係ノ爭議ニ付訴訟ガ繫屬スルト
キハ受訴裁判所ハ職權ヲ以テ小作官ノ
意見ヲ聽キ事件ヲ小作調停法ニ依リ調
停ニ付スルコトヲ得

第十一條 小作調停法ニ依リ調停ノ爲必
要アリト認ムルトキハ裁判所ハ職權ヲ
以テ小作官ノ意見ヲ聽キ調停前ノ措置
トシテ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ裁判ハ調停事件ノ繫
屬スル裁判所ニ於テ非訟事件手續法ニ
依リ之ヲ爲ス

第一項ノ規定ニ依リ裁判ニ違反シタル
者ハ調停事件ノ繫屬スル裁判所ニ於テ
五百圓以下ノ過料ニ處スルコトヲ得
非訟事件手續法第二百七條及第二百八
條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第十二條 小作調停法ニ依リ調停委員會
ニ於テ調停成ラザル場合ニ裁判所相當
ト認ムルトキハ職權ヲ以テ小作官及調

停委員ノ意見ヲ聽キ當事者雙方ノ利益
ヲ衡平ニ考慮シ一切ノ事情ヲ斟酌シテ
調停ニ代ヘ小作關係ノ存續、小作條件
ノ變更其ノ他爭議ノ解決上必要ナル裁
判ヲ爲スコトヲ得此ノ裁判ニ於テハ小
作料ノ支拂、小作地ノ引渡其ノ他財產
上ノ給付ヲ命ズルコトヲ得

前條第二項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ
裁判ニ之ヲ準用ス

第一項ノ規定ニ依リ裁判ニ對シテハ即
時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ期間ハ之ヲ
二週間トス

前項ノ即時抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有
ス

第十三條 小作關係ノ爭議ヲ除クノ外相
隣關係其ノ他農地ノ利用關係ニ付爭議
ヲ生ジタルトキハ當事者ハ裁判所ニ調
停ノ申立ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於
テハ小作調停法及第十條乃至前條ノ規
定ヲ準用ス

第十四條 裁判所第十二條又ハ前條第一
項ノ規定ニ依リ小作關係ノ存續、小作條
件ノ變更其ノ他爭議ノ解決上必要ナル裁
判ヲ爲サントスル場合ニ於テ必要アリト認
ムルトキハ市町村農地委員會又ハ道府
縣農地委員會ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第十五條 自作農創設維持、小作關係ノ
調整、農地ノ交換分合其ノ他農地ニ關
スル事項ヲ處理スル爲市町村ニ市町村
農地委員會ヲ、道府縣ニ道府縣農地委
員會ヲ置クコトヲ得

ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第十六條 左ニ掲グル不動産ノ取得ニ對
シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ
一 第三條又ハ第四條ノ團體ガ第三條
又ハ第四條ノ事業ノ爲ニスル土地ノ
取得
二 第四條又ハ第六條ノ自作農創設維
持ノ事業ニ依リ個人ノ土地ノ取得
三 第四條又ハ第六條ノ自作農創設維
持ノ事業ニ依リ創設又ハ維持セラレ
タル土地ノ所有者ガ其ノ創設又ハ維
持ノ條件ヲ具備セザルニ至リタル場
合ニ於ケル事業者ノ土地ノ取得

第十七條 本法ニ於テ市町村アルハ町村
制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズ
ルモノトス

附 則
第十八條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ
之ヲ定ム

第十九條 命令ヲ以テ定ムル自作農創設
維持ノ事業ニ依リ本法施行前ニ創設又
ハ維持セラレタル自作地ニ付テハ其ノ
旨ノ登記ヲ爲スコトヲ得

第二十條 第八條及第九條ノ規定ハ本法
施行ノ際現ニ存スル農地ノ賃賃借ニモ亦
之ヲ適用ス但シ本法施行ノ際現ニ存ス
ル農地ノ賃賃借ニシテ本法施行後一
年內ニ其ノ期間満了スベキモノニ付
キ當事者ガ其ノ期間満了前一年內ニ
相手方ニ對シテ爲シタル更新拒絶ノ
通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ
更新セザル旨ノ通知ハ第九條第二項ノ
期間內ニ爲サザルモノト雖モ之ヲ同條
同項ノ期間內ニ爲シタルモノト看做ス

第二十一條 第十條第二項、第十一條第
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
十一、十二、十三、十四、十五、十六、
十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、
二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、
二十八、二十九、三十、三十一、三十二、
三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、
三十八、三十九、四十、四十一、四十二、
四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、
四十八、四十九、五十、五十一、五十二、
五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、
五十八、五十九、六十、六十一、六十二、
六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、
六十八、六十九、七十、七十一、七十二、
七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、
七十八、七十九、八十、八十一、八十二、
八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、
八十八、八十九、九十、九十一、九十二、
九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、
九十八、九十九、一百

十二條、第十三條第一項及第十四條ノ
規定ハ本法施行ノ際現ニ繫屬スル小作
關係其ノ他農地ノ利用關係ニ關スル訴
訟事件又ハ調停事件ニモ亦之ヲ適用ス
第二十二條 登録稅法第十九條但書中
「第八號、第九號」ヲ「第八號乃至第九號
ノ四」ニ改ム

同法同條第八號中「自作農ノ創設維持
又ハ」及「北海道府縣市町村、產業組
合、產業組合聯合會、」ヲ削リ同號ノ次
ニ左ノ一號ヲ加フ

八ノ二 農地調整法第四條、第六條
又ハ第十九條ノ自作農創設維持ノ
事業ニ依リ個人ノ土地所有權ノ取
得ノ登記

同法同條第九號ヲ左ノ如ク改ム
九 農地調整法第三條若ハ第四條ノ
團體又ハ第六條若ハ第十九條ノ事
業ヲ行フ者ニ對シ同法第三條、第
四條、第六條又ハ第十九條ノ事業ニ
要スル資金ノ貸付ヲ爲ス者カ其ノ
貸付ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記

九ノ二 農地調整法第三條又ハ第四
條ノ團體又ハ同法第三條又ハ第四條
ノ事業ノ爲ニスル土地ノ權利ノ取
得ノ登記

九ノ三 農地調整法第四條、第六條
又ハ第十九條ノ事業ヲ行フ者カ自
作農創設維持ノ爲ニスル抵當權ノ
取得ノ登記

九ノ四 農地調整法第七條又ハ第十
九條ノ規定ニ依リ登記

同法同條第十二號ヲ左ノ如ク改ム
十二 農地調整法第四條、第六條又
ハ第十九條ノ自作農創設維持ノ事
業ニ依リ創設又ハ維持セラレタル
土地ノ所有者カ其ノ創設又ハ維持
ノ條件ヲ具備セザルニ至リタル場

合ニ於ケル事業者ノ土地所有權ノ取得ノ登記

○國務大臣(伯爵有馬頼寧君)演壇ニ登ル

ナツテ居リマス農地調整法案ニ付キマシテ、其ノ大體ヲ御説明致シタイト存ジマス、申ス迄モナク農地ハ農業經營及農家生活ノ基礎ニアリマスル共ニ、又一面國家ノ存立發展ノ基本條件タル人ノ資源及食糧資源ノ源泉デアリマシテ、農地面積ノ廣狹、其ノ所有關係、小作關係、其ノ他農地ノ利用關係如何ハ、直接農家ノ生活及農村社會經濟ニ重要ナル關係ヲ有スルバカリデナク、延テ國家ノ發展上ニモ至大ナル關係ガアルデアリマス、然ルニ我が國ノ現狀ヲ顧ミマスルニ、農家一戸當リノ平均耕作面積ハ一町歩餘ニ過ギズ、而モ其ノ所有關係ニ於テハ自作農家ハ僅ニ二三割餘デ、爾餘ノ七割弱ニ當ル農家ハ、多少ノ差ハアレ他人ノ農地ヲ耕作スルノデアリマシテ、自作地ハ農地面積ノ五割三分、小作地ハ四割七分弱ト云フ割合ヲ示シ、殆ド農地ヲ所有セザル所謂純小作農家ガ全農家ノ約二割七分ニ上ボル情況デゴザイマス、而シテ其ノ小作關係ニ付キマシテハ、往々ニシテ實情ニ即セザルモノガアリ、又各地ニ小作爭議、殊ニ土地返還ニ關スル爭議ガ著シク増加シテ、其ノ解決ハ一層困難トナツテ參リマシタコトハ、農家農村ニ取ッテハ固ヨリノコト、邦家ノ爲ニ誠ニ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、從ツテ此ノ農地關係ノ調整、改善ヲ圖ルコトハ、誠ニ緊要ト言ハネバナラスノデアリマシテ、殊ニ現下ノ時局並ニ時局後ノ情勢ノ推移等ヲ考ヘマスルト、此ノ際農村ニ於ケル耕作農家ノ生活ノ安定向上、農業生産力ノ維持増進ヲ圖リ、以テ農村經濟ノ更生振興、農村平和ノ保持ヲ期スルコトハ一層ノ急務トスル所デアリマス、之ガ爲ニハ固ヨリ各方面ニ互ツテ諸般ノ農村政策ヲ講ズベキ必要ノア

リマスコトハ勿論デアリマスガ、更ニ直接農地ニ關スル諸般ノ關係モ亦調整スルノ必要ガアルノデアリマス、而シテ之ニ付テハ農村民ノ自覺協調ニ俟テ之ヲ期スベキモノモ尠クアリマセヌシ、又政府ニ於テモ未墾地ノ開發、農地ノ改良、農業水利ノ改善、自作農ノ創設維持其ノ他農地ニ關シ、ソレゾレ事情ノ許ス限リ諸般ノ施設ヲ講ジツ、アル次第デアリマスガ、尙是ト相俟ツテ法制ノ整備ヲ要スルモノモ亦尠クナイノデアリマス、農地調整法案ハ右ニ述ベマシタ趣旨ヲ以テマシテ、兵役其ノ他特別ノ事情アル農家ノ爲ノ農地ノ管理又ハ買取ニ關スル事項、農村經濟更生ノ爲ニ、道府縣、市町村等ノ團體ガ、自作農ノ創設維持又ハ農地ノ貸付ノ事業ヲ行フ場合ニ於ケル土地ノ取得、又ハ使用ニ關スル事項、自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設維持セラレタル自作地ノ保全ニ關スル事項、農地ノ賃貸借ノ存續消滅ニ關スル事項、小作關係其ノ他農地ノ利用ニ關スル爭議ノ調停ニ關スル事項、農地委員會ニ關スル事項等ニ付テ規定致シテ居ルノデアリマス、以上ハ本案提出理由ノ大體デアリマスガ、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望スル次第デアリマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 質疑ノ通告ガゴザイマシタカラ、是ヨリ發言ヲ御許シ致シマス、青木才次郎君

○青木才次郎君演壇ニ登ル

○青木才次郎君 昨ハ未曾有ノ重大時局ニ直面致シマシテ、近衛首相以下各閣僚諸公ノ御奮闘ニ對シマシテ、先ヅ深甚ナル敬意ト感謝ノ意ヲ表スル者デアリマス、然レドモ只今上程セラレマシタル農地調整法案、我が農政上最モ重大ナル法案デアリマス、其ノ運用ノ如何ニ依リマシテハ國民思想ニ變革ヲ來シ、經濟組織ヲ破壊シ、社會ノ秩序ヲ紊スノ危險ヲ含ムノデハナйкаト疑ハレマスルガ故ニ、敢テ此ノ質問ヲ爲ス所以

デアリマス、第一、此ノ法案ハ、農村ノ平和ヲ紊シ、小作ノ爭議ヲ頻發セシメ、地主小作人ノ對立抗爭ヲ激化シ、階級闘爭ヲ意識セシメマシテ、其ノ理論ヲ教ヘ、其ノ實行運動ニ訓練ヲ與フル虞アルモノト思ヒマス、實ニ國家將來ノ爲メ深甚ナル論議研究ヲ要スル重要法案デアルト信ズルノデアリマス、政府ハ第一條ノ初メニ於キマシテ、耕作者ノ地位ノ安定、之ヲ御求メニナツテ居ルノデアリマス、此ノ法案ヲ施行シナケレバ、耕作者ノ地位ノ安定ガ得ラレヌト云フ理由ガ何處ニアルカ、不安定ナリト御認メニ相成ルナラバ其ノ理由ヲ承リタイ、私ノ見ル所ニ依リマス、只今ハ地主ノ都合ニ依リマシテ、耕地ノ貸付ハ解約ガ出來ルコトニナツテ居リマス、然レドモ地主ガ勝手ニ解約ニナツテ居リマス土地ガ何處ニアルカ、假ニアリト致シマシテモ、蓋シ九牛ノ一毛デアラウト私ハ思フノデアリマス、普通選舉施行セラレマシテ以來、我が國ノ現狀ハ、地主ト小作人ガ其ノ位置ヲ顛倒致シマシテ、小作人ガ常ニ優勝ノ地位ニ居ルコトハ一般ニ顯著ナル事實デアリマス、例ヘテ申上ゲマスナラバ、期限ノ約束ノナイ農地ヲ、地主ガ自ラ耕作サムトシテ解約ヲ申込ミマシテモ、小作人ハナカク容易ニ應ジナイノデアリマス、地主ハ已ムラ得ズ訴訟ヲ起ス、訴訟ヲ起シタ場合、小作料ノ滞納デモアレバ又格別デスガ、滞納デモ餘リナカッタ際ニ於ケル裁判所ノヤリ方ヲ見マスルト、ナカナカ判決ヲ下サスノデアリマス、而シテ結果ハ調停ニ付サレ、調停ノ結果ハ地主ガ泣キ寝入りニナル、是ガ現在農村ノ實情デアリマス、又此ノ小作料ノ支拂ニ對シマシテ、年々風害デアルトカ、或ハ蟲害デアルトカ、旱害デアルトカ、僅カノコトヲ針小棒大ニ申立テマシテ、村内ノ小作人ノ聯盟ヲ作り、減額又ハ免除ヲ強要スル、サウシテ滞納致シマシテ、地主ヲ泣カセ得タル

モノガ比々皆然リデアリマス、小作料ノ不納、滞納ハ勿論ノコト、地主ガ正當ナル小作料ノ引上トカ或ハ耕地ノ返還ヲ求メマシタ場合、常ニ地主ガ不利デアリマス現在ノ狀態デアルノニ、耕作者ノ現狀ガ不安定ナリト云フ觀察ノ根據ハ何レニアルノデアリマス、其ノ次ニ、第二御伺ヒ致シマスルハ、此ノ法案ハ現ニ大都市ニ行ハレテ居リマスル借地法ト大體似テ居ルヤウデアリマス、借地法ヲ制定サレマシタ當時ノ借地人ハ、此ノ借地法ノ御蔭ニ依リマシテ、多大ノ借地權利ヲ得ラレ、大ナル利益ヲ受ケテ居リマスガ、其ノ半面ニ於キマシテ、借地法ガ施行セラレタ後ニ於テ、借地セムトスル人ハ大ナル不利益ヲ蒙ツテ居ルノデアリマス、非常ニ困難ナル實情ニアルノデアリマス、此ノ事ハ現ニ施行サレテ居リマス都市バカリデヤナイ、地方ノ中小都市ニ於キマシテモ、將來大都市ノ如ク此ノ借地法ヲ施行サレバ大變タ、空ケテ置クヤウデモ貸地スベカラズ、斯ウ云フ譯デ貸手ガナイ、此ノ借地法ノ齎シマシタル惡影響ハ實ニ大ナリト私ハ思ツテ居ルノデアリマス、此ノ農地調整法案ガ實施サレマスルト、丁度此ノ借地法ノ借地人ト同様ニ、現在ノ小作人ハ救ハレマス、小作地ノ安定モ得ラレ、莫大ナル小作ノ權利金モ得ラレマスガ、此ノ農地調整法施行後ニ於キマシテ、農地ヲ借り一家ヲ立テヨウトスル者ハ、一家ヲ立テヨウトスル所謂農村ノ次三男ハ、農地ヲ借りルノニ非常ニ困難ヲ生ズルノデアリマス、困難ヲ感ジタ結果ハ已ムラ得ズ都市ニ走ルヨリ外ニ途ナシ、斯ウ云フコトニナルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カナリト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、之ガ果シテ我が國家ノ爲ニ有益デアルヤ否ヤ、政府ガ有益ナリト御認メニナツタ點ヲ伺ヒタイノデアリマス、第三ハ本案第一條ニ依リマス、耕作者ノ利益ヲ圖ル

少クトモ之ニ敬服セシメ、首肯セシムルニ足ル論據ヲ御持チノコト思ヒマス、決シテ獨斷的ニ、單ニ信ズルモノデアルト云フガ如キコト御提案ニナツタノデヤナイト私ハ思フ、農地委員會ガ本法ノ與ヘテ居リマス職責ヲ完ウシ得ルト認メタル所ノ理由如何、其ノ證據スベキ所ノ論據如何、之方第五ノ質問デアリマス、第六ハ、此ノ法案ヲ假ニ實施シタト致シマシテ、政府ノ期待シテ居リマスルヤウナ效果ヲ舉ゲムトスルナラバ、私ハ此際、少クトモ此ノ法案ト共ニ市町村制ヲ改正シ、市町村會議員ノ選舉ヲ改正シ、之ヲ等級選舉ニ復舊サセテ、議員ノ素質ヲ向上セシムル必要ガ最モ急ナリト、斯ウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマス、此ノ點ニ關聯致シマシテ內務大臣ノ御意見ヲ伺ヒ得レバ幸ヒダト思ヒマス、其ノ次ハ、政府ハ曩ニ借地法案ニ依リマシテ、御承知ノ如ク都市ノ借地人ヲ救済致シ、今又此ノ農地調整法案ニ依リマシテ小作人ヲ救ハムト欲シテ居リマスガ、然ル以上農村ニハ御承知ノ通り四十億ノ農村負債ガアルノデアリマス、政府ハ更ニ進ミマシテ此ノ農村負債ニ對シ、債務者ニ利益ヲ得セシメル法律ヲ御設ケニナリマセヌケレバ公平ヲ失スルト思フノデアリマス、現行金錢債務調停法ヲ擴張致シマシテ、借地法若シクハ此ノ農地調整法案第九條ニアル如ク、負債ノ限度ヲ撤廢致シ、債權者ハ債務者ニ信義ニ反シタル行為ナキ限り、貸借ノ解約ヲ爲スコトヲ得ズ、又ハ更新ヲ拒ムコトヲ得ズ、或ハ債務者ニ不利ナル約束ハ之ヲ爲サザルモノト看做スト云フガ如キ法案ヲ提出スル御意思アリヤ否ヤ、私ハ斯ウ云フ法案ヲ提出ラ政テ望ムトハ申シマセヌ、望ムトハ申シマセヌガ、農地ニノミ斯克ノ如キ提案ヲ爲シテ地主ヲ苦シメル、同ジク農村ニ投資シテアリマス所ノ金錢貸付方面ニ對シマシテハ馬耳東風、我關セズ、是デ

ハ私ハ公平ヲ缺クト思フ、ノミナラズ政府ノ方針何レニアリヤ、之ヲ疑フノデアリマス、政府ノ御所見ヲ承リタイ、今日ノ重大時局ハ國民ノ協力ヲ最モ必要トスル時デアリマス、然ルニ農村ノ平和ヲ害シ、農村ヲ混亂セシメ、農村ノ地主ヲ滅ス處アル危険ナル法案、殊ニ小作人擁護ニ目モ亦足ラザル人々ガ、先ガ見エナイト云ッテ非常ニ心配シテ居ラレマス、此ノ煙幕法案ヲ提出シ、政府ハ將來如何ニシテ國民精神ヲ緊張セシメ、銃後國防ノ實ヲ舉ゲムトスルノデアルカ、此ノ法案ハ前申上ゲマシタ如ク國家ノ前途ニ暗影ヲ投ズル虞アル所ノ重要法案デアルニモ拘ラズ、幸カ不幸カ地主ハ政府當局ヲ信賴致シマシテ、法案ノ内容モ知リマセヌ人ガ多ク、ソレガ爲ニ無事平穩デアリマスルガ、若シ是ガ電力法案ノ如ク地主ガ其ノ内容ヲ知リマシタ曉、必ズヤ全國幾萬ノ地主ハ生活權ノ脅威ナリ、所有權ノ否認ナリト云ッテ上京スルデアラウト私ハ思フ、若シ此ノ法案ガ通過致シマシテ、地主ガ其ノ内容ヲ知リマシタル時、全國幾萬ノ地主ノ胸中如何ナル感シカ往來スルカ、眠ッテ居ル中ニ平素信用シテ居リマシタ、尊敬シテ居リマシタ何者ニカ財産ヲ取ラレテシマッタ、寢首ヲ搔カレタ、我ガ事終レリト叫ブハ當然ナリト信ズルノデアリマス、要スルニ此ノ人間平等論、人間平等論ニ出發致シマシタル只今ノ選舉法ハ如何ニ社會ヲ毒シテ居ルカ、小作爭議モ東京市電其ノ他ニ起リシ勞働爭議モ、私ハ皆此ノ普選ノ生シタル卵デアルト思フ、歐米ニ眞似タル所ノ衆愚政治、即チ此ノ現行選舉法ニ依リマシテ、個人主義惡弊ト權利思想ノミ仲張シ、國家ニ對スル所ノ義務觀念ハ消滅シ、敬老尊重ノ傳統的美風ヲ失ヒ、禮節地ニ墜チ、國民道德ヲ破壞スル、若シ今度ノ支那事變ノ發生デモナカタナラバ、國破レテ山河アリ、斯クノ如キ嘆聲ヲ聞クニ至タノ

デハナカッタカト憂エテ居ルノデアリマス、此ノ農地調整法案ハ其ノ「イデオロギー」ヲ普選ト同ジウスルモノデアルト思フ、嘗テ河上肇博士ノ京大ニ於キマスル所ノ講義ハ、滿堂萬雷ノ拍手ヲ以テ迎ヘラレタノデアリマス、今ヤ其ノ華ヤカナリシ時代ニ人トナツタ人々ガ、社會ノ中堅層ニナツテ居ルノデアリマス、彼等ハ共產主義ヲ高唱致シマスルト、身邊ノ危險、之ヲ熟知致シテ居リマスルカラ、誠ニ巧ミニ「カモフラージュ」シテ居リマスルガ、一旦染ッタ白紙ハナカク「元ニ還ルモノデハナイト」思フ、心ノ底ニ殘ッテ居リマスル火ハ、事ニ觸ルル毎ニ色々ノ形ニ現レテ來ルモノデアリマス、思想的ニ關係ノアル法規ヲ立案スル人ノ中ニハ、ドウ云フ思想ノ人ガ居ルカ私ハ知リマセヌ、ソレハ分リマセヌガ、此ノ農地法ニ反對スル著書ニ對シテ素リニ削除ヲ命ジ、或ハ地主ヲ擁護シ革新政策ニ反對スルモノハ許サヌ、斯ウ云フ風ニ豪語シタ官吏ガアリト傳ヘラレテ居ルノデアリマス、果シテ事實デアリマスナラバ、私ハ是ハ容易ナコッチヤナイト思フ、敵國外患ハ國民ノ協力一致ニ依リマシテ防ゴトガ出來マスカラ、敢テ恐レル必要ハアリマセヌガ、此ノ思想問題程怖ロシイモノハ私ハナイト思フノデアリマス、東大ノ經濟學部ニ於キマシテ突發シタル所ノ大內教授、アノ人達ノ拘留セラレタル問題ニ端ヲ發シマシテ、土方、本位田教授等ノ組織シマシタ此ノ革新團ノ出現、是ハ神佛自ラ之ヲ爲サズ、人ヲシテ爲サシメタルモノナリト私ハ斯ウ云フ風ニ思フ者デアリマス、既ニ神佛ノ加護ニ依リマシテ、我ガ思想界ヲ「リード」セムトスル所ノ行政ハ、東天ニ現レマシタ曉ノ鐘ヲ打鳴シテ居ルト思フノデアリマス、各階級ニ浸潤致シテ居リマスル暗雲ノ霧消將ニ近キニアリト思フノデアリマス、時ヤ恰モ憲法發布五十年、大祝典ノ舉行ニ當リマシテ、

畏クモ優渥ナル勅語ヲ賜ッタ時デアリマス、私ハ切ニ農林大臣ノ御考慮ヲ煩シタイ、更ニ進ミマシテ首相以下閣僚諸公ノ御明斷ヲ切ニ請ヒタイノデアリマス
〔國務大臣伯爵有馬賴寧君演壇ニ登ル〕
○國務大臣〔伯爵有馬賴寧君〕 青木君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、第一ノ御尋ハ、法案ノ第一條ニ耕作者ノ地位ノ安定ト云フコトヲ特ニ書イテアルガ、耕作者ノ地位ト云フモノハソレ程不安定ナモノデアルカ、寧ろ地主ノ方ガ現狀カラ云ヘバ非常ニ困難ヲシテ居ルコトガアル實情ニアルノデ、殊更ニ耕作者ノ地位ノ安定ト云フコトヲ謳フコトハ、不當デアルト云フヤウナ意味ノ御尋デアッタト思ヒマス、申ス迄モナク政府ガ此ノ法案ヲ提出致シマスル目的ハ、日本ノ農業ヲ盛ナラシメ、農村ヲ繁榮ニシ、更ニ農家、農民ノ幸福ヲ増進スルコト云フコトヲ目的トシテ居ルノデアリマシテ、ソレ以外ニ何等ノ意味ガアル譯デハゴザイマセヌ、特ニ耕作者ノ地位ノ安定ト云フコトヲ謳ヒマシタ意味ハ、小作爭議ト云フモノガ今日モ尙非常ニ澤山アリマシテ、其ノ數ガ數千ニ上ッテ居ルノデアリマスガ、其ノ澤山ノ小作爭議ノ原因トナツテ居リマスルモノノ大部分ハ、土地ノ引上ニアルノデアリマス、詰リ地主小作ノ間ニ爭議ガ起リマシテ、其ノ土地ヲ地主ニ依ッテ取上ゲラレト云フコトガ今日ノ小作爭議ノ大部分ヲ占メテ居ルノデアリマス、私共ハ決シテ此ノ法案ニ依ッテ特ニ耕作者ノ利益ヲ多クスルト云フノデハナイノデアリマシテ、耕作者ノ少クトモ自分ガ耕スル土地ト云フモノダケハ安ジテ耕シ得ルト云フ、詰リ地位ノ安定ヲ與ヘヨウトスルノデアリマス、決シテ地主ノ地位ト云フモノヲ不安ナラシムルト云フ意味デハナイノデ、兎ニ角地主ノ人ノ地位ト云フモノハ、土地ヲ所有スルト云フコトニ依ッテ確立シテ居ルノデアリマスガ、小作人ノ方

ハ何時其ノ土地ヲ取上ゲラレルカ分ラナイト云フ、詰リ仕事ノ根本ヲ失フ虞ガアリマスカラ、其ノ地位ヲ安定セシメルト云フコトガ極メテ今日ノ實情カラ云ツテ、必要ダト考ヘマシテ、此ノ條項ヲ入レタヤウナ譯デアリマス、第二ノ御尋ハ、此ノ法律ハ國家ノ爲ニ有益デアルカ、サウ云フ理由ヲハッキリ言ヘト云フ御尋デアリマシタ、其ノ御質問ノ要旨ノ中ニ、之ニ依ッテ現在ノ借地人ト云フモノハ有リナレドモ、將來ノ借地人ハ非常ニ困難ニナツテ、農家ノ次三男ト云フヤウナモノガ獨立シヨウトシタ場合ニハ、寧ロ不利ニナルノデハナイカト云フヤウナ意味ノコトヲ御話ニナリマシタ、管々シイコトハ申上ゲマセスガ、事變ニナリマシテ農村ノ勞力ガ相當減少ヲ致シテ居リマス、又重工業其ノ他ノ都會ノ繁榮ニ伴ヒマシテ、農村ノ人々ガ大分都會ニ集中ヲ致シテ居リマス、又一方ニ滿洲ニ於ケル移民モアリマス、現在耕シテ借地ヲ致シテ居リマスル者ガ、之ヲ他ニ讓ルト云フヤウナコトハ餘リ多ク考ヘラレナイノデアリマシテ、從ッテ農家ノ次三男ト云フヤウナ者ハ都會ノ方面ニ移ッテ商工業ニ従事スルカ、或ハ滿洲方面ニ移住スルカト云フヤウナ方面ニ主トシテ參ルノデアラウト考ヘラレマスノデ、御心配ノヤウナ事柄ハ私ハ大シテナイノデハナカラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス、此ノ法律ガ國家ノ爲ニ有益デアルカドウカト云フ御尋ニ對シマシテハ、私共無論此ノ法律ガ出來マスコトガ、國家ノ爲ニ有益ダト固ク信ジテ居ルヤウナ譯デアリマス、第三點ニ中小ノ地主ノコトニ付キマシテ御尋デアリマス、此ノ法律ガ出來レバ地主ガ非常ニ困難ラスル、善良ノ地主ト云フモノガ今迄ニ農村ノ爲ニドシナニ貢獻シテ來タカ、然ルニ此ノ法律ガ出來ルト云フト、地主ガ非常ニ不利ナ立場ニナツテ、農村ヲ離レテ行ッテシマウルデハナイカ、斯ウ云フ御心配デアリマス、

私ハ過去ニ於テ善良ノ地主ガ農村ノ爲ニ非常ニ貢獻シタト云フコトニ對シマシテハ、無論御共鳴申上ゲルノデアリマスガ、而モ私共ノ知ル範圍内ニ於テ、隨分農村ノ爲ニ良クナカッタト思ハレルヤウナ地主モ亦少クナカッタト思フノデアリマス、私共ハ、中小ノ地主ノ將來ト云フコトニ付テノ御心配デアリマスガ、耕作者ノ地位ヲ安定セシメ、耕作者ノ利益ヲ多少ナリトモ増進シテ行カナケレバナラヌト考ヘマスレバ、ソコニ幾分力地主ノ人々ニ讓歩シテ貰ハナケレバナラヌコトハ當然ノ結果ダト思ヒマス、從ッテ其ノ地主ノ拂ヒマスル所ノ、讓歩致シマシタ部分ニ對シマシテハ、國家ガ之ヲ保護スルト申シマスカ、助ケルト申シマスカ、事ニ依ッテ地主ヲ保護ヲ致シマスコトハ當然ノ順序デハナイカト思フノデアリマス、私共ハ中小地主ガ農村ニ存在致シマスコトハ結構ナコトダト思ヒマス、從ッテ其ノ人々ガ耕作關係カラ多少ナリトモ不利ナコトヲ感ズルト云フノデアリマスレバ、ソレニ對シテ負擔輕減ヲ致シマスナリ、其ノ他ノ方法ニ依リマシテ其ノ中小ノ地主ヲ保護スル途ハアルト云フヤウニ考ヘテ居リマス、第四ノ御尋デアリマスガ、斯ウ云フ法律ガ出來テ地主ガ非常ニ不安定ニナレバ土地ヲ愛スルト云フ觀念ガ段々薄クナツテシマツテ、土地ヲ賣ッテ逃ゲテ、サウシテ、土地ノ値段ト云フモノガ無價値ニナツテシマウダラウ、愛郷心ト云フモノガ無クナツテシマウダラウト、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、是ハ主トシテ地主ニ付テノミノ御意見ノヤウニ承ルノデアリマシテ、成程地主ダケニ付テ考ヘレバ、或ハサウ云フ風ニ考ヘル人モアルカ知レマセス、併シ私共ハ日本ノ農村ノ根柢ヲ自作農ニ置カウトスルノデアリマシテ、勿論地主ヲ否定スルモノデハアリマセスガ、成ルベク自ラ自分ノ土地ヲ耕シ得ル堅實ナル自作農ヲ以テ日本ノ農村ノ大部分ヲ占メ

ルヤウニ致シタイト云フ考ヲ根本ニ持ッテ居ルノデアリマシテ、從ッテサウ云フヤウナ地主ノ人々ガ、此ノ法律ガ出來タ爲ニ非常不利ニナツテ賣リ逃ゲラスルトカ、土地ガ無價値ニナルトカ云フコトニハ私共ハ考ヘテ居リマセス、從ッテ又假令サウ云フコトガ假ニアツタ致シマシテモ、農村ガソレガ爲ニ非常ニ荒廢ニ歸スルト云フヤウナコトハアリ得ナイト云フヤウニ私共ハ考ヘテ居リマス、第五番目ノ御尋デアリマス、農地委員會ノ構成ニ付テ、大分御心配ノヤウナ御尋ガアツタヤウデアリマシタガ、此ノ法案ニゴザイマスヤウニ、農地委員會ハ所謂町村長ノ推薦ニ依リマシテ、地方長官ガ之ヲ認可スルコトニナツテ居リマス、小作人ガ非常ニ勢力ヲ持ッテ居ルヤウナ所デアリマス、村長ハ其ノ村民ノ氣持ヲ察シテ小作人側ノ委員バカリ選ブダラウ、サウスルト云フト、農地委員會ト云フモノガ殆ド小作人ノ代表者ニ依ッテ構成サレルカラ、其ノ土地ノ地主ハ非常ニ困難ニ陥ルダラウト云フ御心配デアリマシタ、併シ是ハ私共少シ御心配ガ過ギルト思フノデアリマシテ、一方ノ側ノ人カラ申シマスレバ、現在ノ小作調停委員ノ銓衡ヲ見テモ、矢張りサウ云フヤウナ小作人側ノ者ガ、大部分ヲ占メルト云フヤウナコトハ實際上アリ得ナイト私共ハ考ヘルノデアリマス、小作官モ居リマスルシ、調停委員モアリマスルシ、其ノ他縣廳ニ於キマシテモ、其ノ村ニ於ケル地主、小作ノ側ノ代表者トシテハ、ドウ云フ人ガ適當デアルカト云フ……別ニ代表者ヲ選舉スル譯デアリマセスカラ、地主、小作雙方ニ取ッテ、極メテ公平ナ處斷ヲ致シ得ルヤウナ人ヲ能ク承知致シテ居ル譯デアリマスカラ、假令村長ニ於テ不公平ナ推薦ヲ致シマシテモ、縣ニ於テ之ヲ許可スルコトハナイノデアリマスカラ、官廳ノ監督其ノ他ニ於キマシテ、只今ノ御心配ニナルヤ

ウナ結果ハナイト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス、小作爭議ノ原因ニ付キマシテ、第三者ノ煽動ト云フヤウナコトニ付テ大分御述ニナリマシテ、此ノ點ハ御尋デアリマシタト思フノデアリマスガ、私共モ自己ノ利益ノ爲ニ、殊更ニ小作人ヲ煽動シテ、サウシテソコニ爭議ヲ起サシメテ、自分ノ利益ヲ圖ルト云フヤウナ、サウ云フ正シクナイ運動ト云フモノニ對シマシテハ、當局ニ於テ之ヲ嚴ニ取締リ、斯クノ如キコトノアラシメナイヤウニ注意ヲ致シマスコトハ申ス迄モナイノデアリマス、唯所謂社會運動ト認メラレマスモノガ、ソレガ總テ不純デアリ不正デアルト云フ風ニ申スコトハ出來ナイト考ヘルノデアリマス、元々農村ニ於テ地主、小作人ノ間ニ於テ、眞ニ其ノ村ヲ愛シ、日本ノ國土ヲ愛護スルト云フ觀念ガアリマスレバ、サウ云フヤウナ惡意ノ煽動者ガ、煽動スル所ノ餘地モナイデアラウト私共考ヘテ居ルノデアリマス、第六、第七ノ御質問ハ、一ツハ内務省關係デアリ、一ツハ司法省關係デアルト思ヒマスカラ、私ハ最後ノ、銃後ノ國防ニ付テノ御尋ニ對シテ簡單ニ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、御尋ノ中ニ、非常ニ此ノ法案ガ過激ナモノデアル、若シ地主ガ之ヲ聞イタナラバ非常ニ驚キモスルシ、又反對モスルダラウト云フヤウナ意味ノコトヲ御述ニナリマシタ、青木サンモ能ク御承知ダト思ヒマスガ、小作法ヲ作ラナケレバナラナイト云フ聲ハ、モウ隨分古イノデアリマシテ、今カラ十年位前ニ既ニ小作法ガ立案ヲサレ、議會ニ提出ヲサレテ、サウシテ衆議院デハ通過ヲシマシタガ、貴族院ヲ通過シナクテ不成立ニ終リマシタ、其ノ小作法ノ内容ヲ、今回ノ農地調整法ノ内容ト御比較ニナリマスレバ、今回ノ農地調整法ト云フモノガ、如何ナル程度ノモノト思フノデアリマス、又昨年ノ議會ニ於キ

マシテ衆議院ヲ通過シ、是亦貴族院ヲ通過致シマセシメシタ農地法ニ付キマシテモ、ソコニハ可ナリ進シテ實地規定ナドカ入ッテ居リマシタ、是等ニ比ベマシテモ今同ノ農地調整法ト云フモノハ、時代ノ反映カモ知レマセズガ、決シテ非常ナ革新的ナ、危險ナモノダト云フ風ニハ、私共ハ全然考ヘテ居リマセズ、銃後ノ農村ニ付キマシテハ、私ハ日本ノ農村ノ振興ト云フモノハ、從來農産物ヲ作り出セバ宜イト云フ所ニ主眼ガ置カレテ居リマシタアリマスガ、ソレト同時ニ、之ヲ耕ス所ノ農民ノ幸福ト云フコトヲ考ヘナケレバナラスト思ヒマシテ、其ノ點ニ力ヲ入レタイト思フタノデアリマスガ、偶々事變ガ起リマシタ爲ニ、現在及將來ニ對シマシテハ、主トシテ農産物ノ増産、就中食糧ノ確保ト云フコトニ、主力ヲ注ガナケレバナラナイト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、食糧ノ獨立ト云フコトハ國家ノ存亡ノ上ニ非常ナ重大ナ關係ガアリマスノデ、今後ハ農産物ノ増産ヲ圖ツテ、食糧ノ獨立ヲ圖リ、同時ニ國ノ利益ヲ増スト云フコトニ力ヲ入レナケレバナラスト思ヒマス、ソレニ關聯シテ、私共ハ此ノ農業ノ生産ニ從事スル所ノ耕作者ト云フモノノ保護、其ノ人ノ向上ト云フコトニ力ヲ入レナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、此ノ法案ハ決シテ地主ノ味方ヲスルカ、小作人ノ味方ヲスルカ云フヤウナ、サウ云フ考デハナイノデアリマシテ、要スルニ隣保相助ノ美風ヲ持ツテ居リマスル農村ニ於キマシテ、日本ノ國ノ爲ニ、日本ノ農村ノ爲ニ、相協力シテ行ケルヤウニ致シタイト云フノガ此ノ根本ナノデアリマシテ、御心配ニナリマスルヤウナコトハナイト私共ハ確信ヲ致シテ居ル次第デアリマス

ナイノデアリマス、殊ニ私ノ質問中、一番骨子ト致シマシタル農地委員ノ構成、農地委員會ガ人選ノ結果、豫期ノ行動ヲナセルト認メタル證據如何、其ノ理由如何ト云フ、此ノ點ニ對スル大臣ノ御答辯ハ、小作調停官モアルコトデアルカラ、サウ云フ心配ハナイデアラウ、斯ウ云フ意味ニ伺ツタノデアリマス、私ハモット、我々ヲ了解サシテ下サル程ノ十分ナル證據ガオアリノコトト思フテ居リマシタガ、御答ハソレダケデアリマス、昔ナラバサウ云フ御答辯デモ已ムヲ得マセズ、殿ノ仰セ御尤トシテ引下ラナケレバナラスト思ヒマスルガ、立憲治下ノ今日ニ於キマシテハ、「オーライ」ト稱シテ引込ム譯ニハ行カヌノデアリマス、然レドモ此ノ上質問ヲ重ネマスルト、遂ニ議論ニ互ル處アリ、今日此ノ席ニ於テ爲スベキ所デヤナイト思ヒマス、他日機會ガアリマシタナラバ、此ノ御答ニ基キマシテ、私ノ所見ヲ申上ゲル積リデアリマス、此ノ際ニ唯一點追加質問ヲ致シテ見タイコトガアル、ソレハ農林大臣ガ衆議院ノ本案ニ對スル委員會ニ於テ、御答ニナラレタ點デアリマス、農林大臣ハ衆議院ノ農地調整法ノ委員會ノ第六回委員會ニ於キマシテ、加藤委員ノ質問ニ對シマシテ、斯ク答ヘラレテ居リマス、前ハ略シマス「假ニ實例トシテ貴族院ヲ御覽ニナレバ一番良ク分リマスガ、貴族院ニ農村代表者ハ殆ド居ナイ、居レバ地主ノ代表デアル、サウ云フ場合ニ貴族院ガドノ程度ニ農村ヲ理解シ、農村ニ政治上ドウ云フコトヲシテ居ルカト云フコトヲ御考ニナレバ、一番能ク分ルト思フノデアリマス」云々ト、斯ウ言フテ居リマス、其ノ次ニ、同會第七回、南委員ノ質問ニ對シマシテ、前ノ如ク同ハ略シマス「此ノ農地調整法ノ成立致シマシタ曉ニ於キマシテハ、此法ノ運用上カラ申シマシテモ、是非トモ地主ヲシテ十分ナル理解ヲ持タシメ、又サウ云フ人達

等級制度トスル必要ハナイカ、斯ウ云フ要旨デアット存ジマス、御質問ニ付キマシテハ今迄モ時々同様ノ御意見ヲ承ルノデアリマス、議員ノ素質ヲ向上シナケレバナラヌ必要ニ付キマシテハ、全ク青木君ト同感デアリマス、唯此ノ問題ハ地方制度ノ根幹ニ觸レルコトデモアリマスシ、選舉制度ノ改正トモ關聯致シマスノデ、現ニアリマスル地方制度調査會其ノ他ニ付議致シマシテ、慎重ニ考究シタイト考ヘテ居リマス

ノ啓蒙ヲスルト云フコトハ、之ニ伴ツタ事柄トシテ是非シナケレバナラナイダラウト思フテ居リマス、私モ微力デハアリマスガ、此ノ法案ガ幸ヒ衆議院ヲ通過致シマシテ貴族院ニ廻リマスレバ、恐ラク其ノ啓蒙運動ノ一端ガソコニ現レテ來ルノデハナイカト思フノデアリマス」ト述べテ居リマス、次ニ同ジク委員會ノ第九回、愛野委員ノ質問ニ對シマシテ、前ハ略シマス「貴族院ノ研究會ノ方々ガ、此ノ衆議院ノ方ノ農地調整法ノ委員會ノ速記録ヲ大部分讀シテ居ラレテ、私ノ答辯ノ中ノ色々ナ所ヲ拾ヒ上ゲテ、大分問題ニシテ居ラレルサウデアリマシテ、私十分申上ゲタイコトハ色々アルノデスガ、此處バカリノコトニナラナイノデ、直グソレガアチラニ響イテ參リマスノデ、暫シノ間、言ヒタイコトハ山程アルノデスガ」……、今ノハチヨット違ヒマシタ、チヨット拔ケマシタカラ直シマス、「響イテ參リマス」次ニ「此ノ法案ノ通リマス迄ト言ツテハ語弊ガアリマスガ、暫シノ間言ヒタイコトハ山程アルノデスガ、言ヘバ言フダケ段々山ガ高クナツテ越エラレナクナツテシマフノデハナイカト思ヒマス」云々ト、斯ウ云フ風ニ言ハレテ居リマス、之ニ付テノ御尋デアリマス、貴族院ニ農村代表者ハ殆ド居ナイ、居レバ地主ノ代表デアル云々、此ノ點デアリマス、私ハ察スルニ、農林大臣ハ貴族院ニ居レバ地主ノ代表ナリト言フノハ、蓋シ我々ヲ言フノデハナイカト思フ、ドウ云フ議員ヲ言フノデアッタカ分リマセズガ、我々ヲ言フノデハナイカト思フ、我々地方カラ選出サレテ居ル者ヲ言フノデハナイカト思フ、此ノ論法ヲ以テシマスルナラバ、衆議院ノ諸公ハ多クハ無産階級ノ小作人ノ票ガ多數ニ依ツテ選出サレテ居ル、衆議院ノ諸公ハ小作人ノ代表ナリト云フノデハナイカト私ハ思フ、私ハ衆議院ノ諸公ガ小作人ノ代表ナリトハ斷ジテ

○政府委員(井上登君) 金錢債務臨時調停法ニ關スル御質問ニ付キマシテ御答辯申上ラモ色々論議サレテ居ルノデゴザイマスケレドモ、其ノ施行以後今日迄相當好イ成績ヲ擧ゲテ居リマス、例ヘテ申シマス、其ノ申立總數ガ三十八萬三千八百三十三件ゴザイマス、其ノ中二十八萬七千四百九十九件、七割以上ノ調停ガ成立シテ居ルノデゴザイマス、其ノ調停後ノ履行ノ狀態ヲ見マシテモ、司法省ニ於テ調停マシタ所ニ依リマス、ナカ／＼良ク履行サレテ、好イ成績ヲ擧ゲテ居ルノデゴザイマス、其ノ調停委員ノ選定トカ調停ノヤリ方、其ノ他取扱ニ付キマシテモ、當局ト致シマシテハ十分注意シテヤツテ居リマシテ、債權者、債務者、雙方ノ利益ヲ最モ公平ニ保護スルヤウザイマス、ソレデ只今直チニ此法律ヲ廢止若シクハ改正致シマセウト云フヤウナ計畫ハ、只今ノ所ハゴザイマセズケレドモ、御質問ノ點ニ付キマシテハ能ク了解致シマシタカラ、尙十分省内ニ歸リマシテ、ヨク傳ヘマシテ、十分研究、調査致シタイト存ジテ居リマス

ノ啓蒙ヲスルト云フコトハ、之ニ伴ツタ事柄トシテ是非シナケレバナラナイダラウト思フテ居リマス、私モ微力デハアリマスガ、此ノ法案ガ幸ヒ衆議院ヲ通過致シマシテ貴族院ニ廻リマスレバ、恐ラク其ノ啓蒙運動ノ一端ガソコニ現レテ來ルノデハナイカト思フノデアリマス」ト述べテ居リマス、次ニ同ジク委員會ノ第九回、愛野委員ノ質問ニ對シマシテ、前ハ略シマス「貴族院ノ研究會ノ方々ガ、此ノ衆議院ノ方ノ農地調整法ノ委員會ノ速記録ヲ大部分讀シテ居ラレテ、私ノ答辯ノ中ノ色々ナ所ヲ拾ヒ上ゲテ、大分問題ニシテ居ラレルサウデアリマシテ、私十分申上ゲタイコトハ色々アルノデスガ、此處バカリノコトニナラナイノデ、直グソレガアチラニ響イテ參リマスノデ、暫シノ間、言ヒタイコトハ山程アルノデスガ」……、今ノハチヨット違ヒマシタ、チヨット拔ケマシタカラ直シマス、「響イテ參リマス」次ニ「此ノ法案ノ通リマス迄ト言ツテハ語弊ガアリマスガ、暫シノ間言ヒタイコトハ山程アルノデスガ、言ヘバ言フダケ段々山ガ高クナツテ越エラレナクナツテシマフノデハナイカト思ヒマス」云々ト、斯ウ云フ風ニ言ハレテ居リマス、之ニ付テノ御尋デアリマス、貴族院ニ農村代表者ハ殆ド居ナイ、居レバ地主ノ代表デアル云々、此ノ點デアリマス、私ハ察スルニ、農林大臣ハ貴族院ニ居レバ地主ノ代表ナリト言フノハ、蓋シ我々ヲ言フノデハナイカト思フ、ドウ云フ議員ヲ言フノデアッタカ分リマセズガ、我々ヲ言フノデハナイカト思フ、我々地方カラ選出サレテ居ル者ヲ言フノデハナイカト思フ、此ノ論法ヲ以テシマスルナラバ、衆議院ノ諸公ハ多クハ無産階級ノ小作人ノ票ガ多數ニ依ツテ選出サレテ居ル、衆議院ノ諸公ハ小作人ノ代表ナリト云フノデハナイカト私ハ思フ、私ハ衆議院ノ諸公ガ小作人ノ代表ナリトハ斷ジテ

○國務大臣(末次信正君) 青木君ノ御質問ハ、農地調整法ト關聯シテ町村會議員選舉ヲ

○青木才次郎君 折角御答辯ハ戴キマシタガ、小生不敏ノ爲カ、遺憾ナガラ了解出來

思ッテ居リマセヌ、國民ノ代表ナリト思ッテ居リマセヌガ、貴族院ニ農村代表ノ議員ガナイ、アレバ地主ノ代表者ト稱スル此ノ言葉カラ聯想致シテ見マシテ、農林大臣ハ衆議院ノ諸公ニハ地主代表ナシ、アレバ小作人ノ代表ナリ、斯ウ云フ風ニ言フノデヤナイカト思フノデアリマス、私ハ此ノ貴族院ノ議員諸公ハ農村モ代表シ、同時ニ都市モ代表シテ居ルト思フ、即チ全國民ノ代表ダト思ッテ居ルノデアリマス、更ニ此ノ地主ノ啓蒙運動ヲオヤリニナルコトハ先程農林大臣モ仰セラレマシタガ、全國幾萬ノ地主ノ中ニハ多少ハ惡イ人ガアルト思フ、是ハ敢テ否定ハ致シマセヌ、役人デサヘ惡イ人ガアル世ノ中デスカラ、地主ニモ多少ハアルト思ヒマス、多少ハアリマセウカラ、此ノ點ハ御尋ネ致シマセヌガ、事モアラウニ、終リノ方ニ「微力デハアリマスガ、此ノ法案ガ貴族院ニ廻リマシレバ、恐ラク其ノ啓蒙運動ノ一端ガソコニ現レテ來ルノデハナイカト思フ」ト仰セラレタ點、私ハ此ノ文字ハ貴族院議員ノ啓蒙運動ノ必要アリト仰シヤッタヤウニ思フ、本員淺學非才デハアリマスガ、一意國家ノ前途ヲ念ト致シマシテ、世俗ニモアリマセヌ、民衆ノ意ニモ迎合致シマセヌ、如何ナル非難、攻撃ガアリマセウトモ、冷靜、公平ニ、大所高所ニ立ッテ審議ヲ盡シ、職ニ殉ズル覺悟デ居ルノデアリマス、啓蒙シテ下サル點ガアルト致シマスレバ、農林大臣ハ私ノ意ノアル所ヲ諒セラレ、其ノ必要ノアル點ヲ明細ニ一ツ教ヘテ戴キタイト言フノデアリマス、其ノ次ニ第三點ノ、言ヒタイコトハ山程アルノデアリマスガ、此點デアリマス、私ハ此ノ重要法案ノ審議ニ當リマシテハ、政府ハ勿論議員モ御五ニ意ノアル所ヲドシ、言ッテ切瑛、研究ヲ致シマシテ、良イ所ヲ取ル、是ガ立憲政治ノ本旨ダト思フ、畏クモ開院式ノ御勅語ニモアルノデアリマス、唯此ノ農地調

整法案ノ通過ニノミ熱中シ、意ノアル所ヲ示サスト云フ理由ハ何レニアリヤ、之ヲ聽キタイ、私ハ此ノ三ツノ點ガ若シ衆議院デアッタ大變ダト思フ、貴族院ノ慣例ハ成ルタケ言葉ヲ慎シテ丁寧ニヤラナクチャナラヌ、サウ云フ風ニ聞イテ居リマスカラ、言ヒタイコトモ遠慮シテオトナシク……極メテオトナシクヤッテ居ル積リデアル、私ガ大臣ナラコンナコトナラ引込ミマセヌ、ドウゾ農林大臣ハ、私ハ遠慮シテ御質問シテ居ルノデアリマスカラ、御丁寧ニ能ク分ルヤウニ御説明ガ願ヒタイ

○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 私人衆議院ニ於キマシテ委員會デ申述ヘマシタ事柄ニ付キマシテ、只今青木サシカラ御尋デアリマシタ、第一點ノ貴族院ニ農村ノ代表ハナクテ、居レバ地主ノ代表ダト云フコトヲ申上ゲタコトニ付デアリマス、私ノ用ヒマシタ言葉ニ或ハ不穩當ナ所ガアッテ誤解ヲ招イタ點モアルカト思ヒマスガ、私ガ此處デ農村ノ代表ト申シマシタノハ、或ハ現在ノ貴族院ニ於キマシテハ望ミ得ナイ無理ナコトカモ知レマセヌガ、農村ト云フモノガ所謂上下、大小有ラユル階級ガアルノデアリマス、其ノ農村ノ有ラユル階級ノ人々ヲ代表シテ居ルトハ私ハ考ヘテ居ナイノデアリマス、地主ノ代表ト申上ゲタ言葉ガ惡ケレバ言葉ハ換ヘマスガ、常識的ニ考ヘテ見デモ貴族院ニ居ラレル農村關係ノ方ト言ヘバ、矢張り私ハ地主ノ方ガ大部分ダト思フノデアリマス、サレバト言ッテ私ハ只今モ御話ニナリマシタヤウニ、衆議院ニハ小作人ノ代表ト云フコトハ私ハ申シマセヌ、衆議院ノ農村議員ト雖モ、決シテ小作人ノ代表者ト見得ル人モアリマスガ、又此處ニモ地主ノ代表ト見ラル人モアルノデアリマシテ、決シテサウ云フ對立ノ意味ニ於テ申上ゲタノデハアリマセヌガ、貴族院ニオイデニナル所ノ

農地關係ノ方々ハ、大部分ハ私ハ地主ノ側ノ方々ダト思フノデアリマシテ、私ガ農村代表ガ居ナイト申上ゲマシタノハ、農村ノ全般ニ互ツテノ代表者ガ居ナイト云フ意味ノコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、決シテ惡意ハ何モナイノデアリマス、第二點ノ地主ノ啓蒙ト云フコトニ付キマシテ、貴族院ニ此ノ法案ガ廻レバ、所謂地主啓蒙ノ一端ガソコニ現レルダラウト云フヤウナコトヲ申シタ點ニ付テノ御尋デアリマス、地主ガ啓蒙サレナケレバナラヌカドウカト云フコトニ付テハ、是ハ青木サシノ御考ト私ノ考ヘテ居ルコトハ相當考ヘ方違フノカモ知レマセヌガ、私ハ地主ノ人々ニ考ヘテ貰ハナケレバナラナイコトモ尠カラズアルト思フノデアリマス、決シテ貴族院ニ居ラレル地主ノ方々ニ啓蒙シテ戴クト云フ意味デハナイノデ、此ノ法案ガ貴族院ニ於テ論議サレマシレバ、ソレガ全國ノ所謂地主ノ人々ノ啓蒙ニナルト云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマス、前ニモ申上ゲマシタヤウニ、地方ニ於ケル地主ノ主ナ方々ガ此處ニオイデニナルノデアリマスカラ、此ノ法案ヲ通シテ色々農村ノコトガ論議サレ、審議サレマスレバ、所謂地方ノ地主ノ中ニ若シ假ニ分ラナイ人ガアッタト致シマスレバ、其ノ人々ガ啓蒙サレルト云フコトハアリ得ルト私ハ考ヘテ、サウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマス、言ヒタイ事ガ山程アルケレドモ言ハサインダト云フコトニ付テノ御尋デアリマスガ、是ハ青木サシノモ色々仰シヤリタイ事ガアルケレドモ、言ハナイト仰シヤイマシタガ、私モ言ヒタイ事ハ勿論山程ゴザイマス、併シ本會議議サウ云フコトヲ澤山云フコトハ遠慮スルモノダト云フ御話デゴザイマスカラ、私モ此處デハ申上ゲマセヌガ、何レ委員會デモ御尋ヲ受ケマスレバ、申上ゲナケレバナラヌ譯デアリマスカラ、考ヘテ居リマスル事ハ當然御答ヲ申

上ゲタイト思ヒマス、御質問ニ對シテ或ハ不十分デアアルカモ知レマセヌガ、大體御尋ノコトニ對スル私ノ考ヘハ以上ノ通りデアリマス

○青木才次郎君 極メテ簡單デアリマスカラ、此ノ席デ御許シテ願ヒタイト思ヒマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス

○青木才次郎君 只今ノ御答辯遺憾ナガラ全然了解出來ナイノデアリマス、然レドモ再ビ御伺スルト議論ニ互リマスカラ、殊ニ時間モ過ギテ居リマスシ、本日ハ此ノ程度ニ止メマシテ、他ノ機會ニ御尋スルコトニ致シマス、質問ヲ打切りマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 時間ノ都合上一時休憩致シマス、午後ハ一時半ヨリ開會致シマス

午後零時九分休憩

午後一時四十分開議

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 報告ヲ致サセマス

〔丸報書記官朗讀〕

本日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

會

委員長 公爵島津 忠承君

副委員長 橋本辰二郎君

委員長 伯爵兒玉 秀雄君

副委員長 男爵矢吹 省三君

電力管理法特別委員會

本日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

昭和十三年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案可決報告書

昭和七年法律第一號中改正法律案可決報告書

造幣局東京出張所廳舍其ノ他ノ新營費ニ關スル法律案可決報告書

告書

造幣局東京出張所廳舍其ノ他ノ新營費ニ關スル法律案可決報告書

告書

告書

告書

告書

對支文化事業特別會計法ノ特例ニ關スル
法律案可決報告書

支那事變ニ關スル臨時軍事費ノ財源ニ充
ツル爲特別會計ヨリ爲ス繰入金ニ關スル
法律案可決報告書

朝鮮事業公債法中改正法律案可決報告
書

軍ノ需要充足ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關ス
ル法律案可決報告書

請願文書表(第八回報告)

○副議長(侯爵佐佐木行忠) 是ヨリ休憩
前ニ引續キ午後ノ會議ヲ開キマス、通告順
ニ依リ質疑ノ發言ヲ許シマス、山隈康君

(山隈康君演壇ニ登ル)

○山隈康君 質疑ニ入ルニ先ダチマシテ二
三申述ベタイコトガアリマス、第一ノ點ハ
先刻青木君ヨリ質問ヲサレマシタ點ト私ノ
是ヨリ御尋ヲ申上ゲムトスル點ガ、其ノ終
點ニ於テハ或ハ同一ニ歸著スルカモ計ラ
ザナイノデアリマスルケレドモ、行ク軌道
ガ違ッテ居ルノデアリマス、此ノ點豫メ御了
承ヲ願フテ政府ノ御答辯ヲ願ヒタイト存ジ
マス、第二ニハ青木君ニ對スル農林大臣ノ
御答辯ヲ拜聴致シマスレバ、私共ト二個ノ
認識ニ相違ガアルコトヲ發見致シマシタ、
第一ノ點ハ農村ノ基本、農村經濟ノ基礎ハ
自作農及小作人、斯ウ云フ意味ニ拜聴シタ
ノデアリマス、私共ハ國家ノ基本タル農村
ノ地主、自作人、小作、此ノ三者ノ協力一
致、是ガ眞ニ農村經濟確立ノ基礎ナリト確
信ヲシテ居ルモノデアリマス、此ノ點ガ農
林大臣ト其ノ認識ヲ異ニスル一ツ、第二ノ
點ハ農林大臣ノ御説明ニ依リマスルト、地
主ニハ相當ノ惡性ノ者ガアル、私共ハ恒産
アル者ハ恒心アリ、是ハ千古不滅ノ格言ナ
リト存ジテ居リマス、此ノ見地カラ致シマ
シテ現今ノ地主ガ偶ニ例外ト致シマシテ惡
性ノ者ガアリマスルケレドモ、大體ノ上ニ
於テ善良ナル人々デアルト存ズルノデアリ

マス、立法ハ例外ヲ基礎トスベキモノニア
ラズ、タマサカ一二ノ惡地主ガアルト云フ
コトヲ基礎トシテ、立法ヲスベキモノニ非
ズト信ズルモノデアリマス、此ノ點ガ不幸
ニシテ農林大臣ト認識ヲ異ニスル點デアリ
マス、從ッテ是等ニ對スル質問應答ガ結局同
一ニ歸著シ得ナイ、私共ノ質問ニ對シテ政
府ノ御答辯モ凡ソ想像ガ付キマス、併シ私
共ガ私共ノ信念ニ依ッテ質疑ヲシ、政府當局
ハ又政府當局ノ信念ニ依ッテ御答辯ニ相成
リ、此ノ間ニ於テ初メテ本案ノ眞運命ガ決
定セラレ、モノト存ズルノデアリマス、私
ノ質問ニ對シテ十二分ノ御答辯ヲ得ナイ虞
ハアリマスルケレドモ、兎ニ角斯ウ云フ見
地カラシテ御尋ヲシタイト存ジマス、第一、
本日上程セラレマシタル農地調整法案、是
ハ立法技術ト致シマシテハ頗ル巧妙ニ出來
テ居リマス、法文ヲ拜見致シマシテモ甚ダ
平穩、平和、而モ妥協的ニ出來テ居リマス、
殊ニ此ノ原則的ノ大綱ヲ掲ゲテ、實際ノ施
行ニ對シテハ、農地委員會、若シハ此ノ
農地ニ關係アル各種ノ調査機構ノ自治ニ一
任セラレタル事柄ハ、近來ノ稀ニ見ル立
法ト存ズルノデアリマス、動モ致シマス
近時ノ立法ハ頗ル煩瑣ニ流レ、教科書的ノ
立法ニ陥ル弊モアリマスルガ、此ノ農地法
案ハ立法技術トシテハ以テ範トスルニ足ル
ト存ズルノデアリマス、併シ此ノ美シキ舊
ノ中ニハ一ツノ棘ガアル、此ノ棘ニ依ッテ恐
ラク政府ノ御期待ニ相成リマスル所ノ農村
ノ生業ノ擴充、農村經濟ノ確立、農村ノ平
和、斯ウ云フコトノ目的ニ裏切ラレマシテ、
反對ニ地主對小作ノ爭議、階級ノ鬭爭、思
想ノ惡化、斯ウ云フコトヲ招來スル危險ガ
ナイカト存ズルノデアリマス、先ヅ此ノ際
私共ノ質問者ノ態度ヲ明白ニシテ置キタイ
ト存ズルノデアリマス、私共ハ地主ノ位
置ヲ擁護致シマシテ、濫ニ國策ヲ遂行ニ
反對ヲ試ミムトスル者デモアリマセス、又

私益ハ公益ノ爲ニ犠牲ニセラレ、農村ノ確
立、農村經濟ノ更生ガ、自作農ノ創設維持
ニアルト云フ見解ニ對シマシテハ、私共モ
同意ヲ致シマス、是ガ眞ニ公益上必要デア
リ、又ソレガソレダケノ目的ヲ達スルコト
デアリマシタナラバ、憲法ノ擁護ヲ致シマ
スル範圍内ニ於テ、地主ノ權利ヲ若干制限
ヲ加ヘルト云フコトモ、是モ私ハ當然ナリ
ト存ズルノデアリマス、但シ名ヲ公益ナリ
ト云フ看板ヲ掲ゲテ、其ノ實公益の事業ノ
完成ガ出來ズ、徒ニ所有權ノ侵害ヲ爲スガ
如キ法案ニ對シマシテ、私共ハ斷乎シテ
反對ヲセネバナラスト存ズルノデアリマス、
唯動モ致シマスレバ、近代ノ思想風潮ハ、
不在地主ヲ討伐セヨ、耕作ヲセザル地主ノ
存在ハ之ヲ容認シナイ、斯クノ如キ空漠ナ
ル概念ノ下ニ、唯公益ト云フ旗印ノ下ニ、
折角憲法ニ依ッテ擁護サレマシタル私共ノ
所有權ニ對シテ侵害ヲシ、不安ヲ來スト云
フガ如キコトハ、國家ノ大局カラ見テ嚴ニ
戒メネバナラスト思フノデアリマス、以上
ノ見地カラ致シマシテ本案ヲ探究致シマス
レバ、第一ハ此ノ現在ノ政府ガ、自作農維
持ノ爲ニ融通セラレル金額ハ限度ガアリマ
ス、買收價額ノ全部ヲ融通セラレル譯デハ
ナイ、此ノ故ニ自作農タラムトスル者ハ、
其ノ不足分ヲ他ニ融通ヲ求メル必要ガア
ル、本法ノ第六條ノ規定ニ依リマスレバ、
「自作農創設維持ノ事業ニ依リ創設又ハ維
持セラレタル自作地ノ所有者ハ命令ノ定ム
ル場合ヲ除クノ外行政官廳ノ認可ヲ受クル
ニ非ザレバ其ノ自作地ノ讓渡若ハ貸付ヲ爲
シ又ハ之ニ付物權ヲ設定スルコトヲ得ズ」、
斯クノ如キ制限ヲ附セラレマシタル以上
ハ、自己ノ買收致シマスル地所ヲ目當トシ
テ金錢ノ融通ノ爲シ能ハザルコトハ論ヲ俟
タス、然ラバ今日自分ノ耕作スル土地ヲ有
セナイ農民ガ、對人信用ニ依ッテ金ガ融通ガ
出來ルカト云フト、ソレハ殆ト出來ナイ、

斯ウ云フ見地カラ致シマスレバ、私ハ丁度
此ノ法案ハ畫ニ描イタ餅デス、體裁ハ非常
ニ美シイ、取ツテ食ハムトスレバ食フコト
ガ出來ナイ、小作人ハ此ノ美シキ法案ヲ涎
ヲ流シテ眺メテ、其ノ實ハ此ノ法案ニ依ッテ自
作農ノ制定維持ニハ、何等ノ目的ヲ達スル
コトハ出來ナイ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノ
デアリマス、現ニ此ノ政府ガ昭和元年カラ
昭和十一年ニ至ル間ニ於テ、自作農維持ノ
爲ニ融通ニ相成リマシタル金額ハ實ニ一億
六千三萬餘圓ニ達シテ居ル、此ノ巨額ノ金
ヲ投ジテ、其ノ成績トシテ現レテ居ル所ハ、
昭和六年ニハ自作農ガ百七十五萬六千三百
九十九戸、越エテ十一年ニハ百七十三萬千
百三十九戸、却テ二萬五千二百六十戸ノ減
少、金ハ一億萬圓以上ノ金ヲ使ヒナガラ、
自作農ハ減少ヲシテ居ル、是等ノ事實カラ
致シマシテモ、單ナル法律ノ力ニ依リ自
作農ガ天一ノ手品ノヤウニ、容易ニ實現ヲ
シ得ナイコトハ明白ナコトト存ズルノデア
リマス、眞ニ此ノ政府ガ自作農ヲ維持
創設サレムトスルナラバ、先ヅ此ノ自作農
ノ維持金ヲ十二分ニ増額ヲサレ、自作農ノ
買收價額ノ全部ヲ融通セラレト云フコ
ト、更ニ金利ノ引下、從來ノ金利ヨリモ
ズツ引下ゲル、相當ニ金利ハ高イ、更ニ
償還年次ノ延長、又政府ノ金ヲ借リマスル
ニハ非常ニ煩雜ナ手續ヲ要スル、此ノ手續
ヲ簡潔ニセヨ、其ノ上ニ最モ大切ナ不動產
取得稅ノ全廢ヲスル、斯ウ云フ勇斷ニ出ラ
レタナラバ、ソレ等ノ政策ト相照ラシテ稍
自作農創設維持ノ目的ヲ達スルコトガ出來
ヨウト思フノデアリマスルケレドモ、今日
ノ政府ノ自作農維持ニ關スル經濟力、又是
等ニ關スル諸般ノ施設、條例規定ノ下ニ於
テ、單ナル此ノ法案ニ依ッテ所期ノ目的、第
一條ニ依リマスルト相當ナエライ目目的ガア
リマス、耕作者ノ位置ノ安定、農業生産力
ノ維持増進、農村ノ經濟更生、農村ノ平和

ノ保持、斯様ナ重大ナル大目的、是ハ此ノ種ノ數箇條ニ互ル、金ヲ使ハズ單ナル法律ノ力ニ依ツテ、是等ノ遠大ナル目的ヲ達スルコト云フガ如キコトハ、本ニ縁テ魚ヲ求ムルヨリモ尙私ハ至難ノコトナリト存ズル者デアリマス、次ニ私ノ最モ心配ニ堪ヘナイノハ、青木君ノ質問中ニモ稍、觸レタヤウデアリマスガ、此ノ本法案ニ依リマスレバ自作農ノ維持創設ニ關シテハ、其ノ土地ノ所有者其ノ他之ニ關シテ權利ヲ有スル者ニ對シテ土地ノ讓渡又ハ使用、收益ノ權利ノ設定若シクハ讓渡ニ關スル協議ヲ爲スコトガ出來ル、而シテ是等ノ自作農ノ維持創設、小作關係ノ調整、農地ノ交換、分合其ノ他農地ニ關スル事項ノ處置ト云フモノハ、農地委員會ニ依ツテ之ヲ決定スル、勿論行政官廳ノ認可ハ必要デアリマセウ、是ガ此ノ法律ノ根本原理ヲ成シテ居ルモノト存ズルノデアリマス、此ノ法文自體カラ申シマス、協議ヲスルコトガ出來ル、地主ト自作農タラムトスル者ノ間ニ委員會ガ介在ヲシテ懇談、懇話、相談ヲシテ決メル、法文ハ全ク結構ナ法文デアリマス、極メテ所有者ノ自由意思ヲ尊重シ、濫ニ所有權ノ侵害ヲシナイ、斯ウ云フコトガ法文ソレ自體ヲ見ルト考ヘラレル、併シ私ハデス、法ノ法文デ左様ナ、妥協的所有者ノ意思尊重ト云フガ如ク速クシ、了解ヲスル人ガアツタ致シマシタナラバ、其ノ人ハ甚ダ世間ノ事情ニ疎イ、實際ノ生活ヲ知ラナイ管見者流ノ見解ナリト存ズルデアリマス、是ハ少シク農林大臣ニ對シテ敬意ヲ失スルカモ知レマセスガ、率直ニ私ハ申述べマス、蓋シ近時此ノ種ノ法律ニ對シマシテ、此ノ法律ハ戰ニ依ツテ地所ヲ奪フコトヲ示唆スル法律デアルト云フコトヲ批判スルノデアリマス、此ノ批判ヲ避ムガ爲メノ注意ニ出タル法文ニナルト信ズル者デアリマス、其ノ苦心ノ跡ハ十分ニ認メルコトガ出來ルノデアリマスガ、此ノ妥協妥讓、所謂法文ノ協議、是ガ

此ノ儘ニ私ハ無條件ニ受ケ入ル、コトガ出來ルカドウカ、苟モ其ノ地方ニ於ケル有力者ヲ集メテ、農地委員會ヲ組織スル、其ノ委員會ガ、是ハ實ルベキモノデアアル、而シテ價值ハ幾ラデアアル、而モソレハ農村ノ經濟更生ノ爲ニ必要デアアル、若シ之ニ反對シ、若シ此ノ協議ニ應ジナイ者ノハデス、農村ノ經濟更生ニ反對スル者デアアル、斯ウ云フコトデアッタナラバ現在ニ於ケル地主ガ、ソレヲ拒否スルコトガ出來マセウカ、非常ニ形式ハ宜シイ、公益ノ爲、農村經濟更生ノ爲、而シテ我々ノ先輩タル有力者ノ委員會ノ決議、而モ其ノ背後ニハ多數ノ小作ヲ持タナイ地主ガ背後ニ控ヘテ居ル、此ノ際敢然トシテ其ノ妥協、其ノ交渉、其ノ相談ヲ拒絶シ得ル者ガ果シテ幾許アルカ、私共ハ寧ロ法律ヲ強制スルナラバ、人間ト云フモノハ不思議ナモノデ、強制サル、相手方ハ法律ヲ柄ニ取ツテ抗争ヲスル、併シ法律ニ依ラズ妥協妥讓ニ依ツテ相談ヲ持チ掛ケラル、場合ノ重壓ト云フモノハ、法律ノ面ニ依ル強制ヨリモ、更ニ重壓ヲ加ヘテ、其ノ人ノ自由意思ヲ拘束スル、尾ヲ振ル犬ハ打タレス、此ノ例ヲ此ノ場合ニ引用スルノハ當ラ得タルモノニアラズト存ジマスケレドモ、妥協的溫和シク出タモノニ對シテ威壓、ナカク、サウ云フモノニ對シテハ手ガ觸レラナイ、例ヘバ私共ガ自動車ニ乗ル車ニ乗ル、賃錢ヲ先方カラ要求スレバ高イ安イデソレヲ拒否スルコトガ出來ル、思召デ宜シイト云フ時ニハ困ル、十錢デ宜シイト云フモノヲ二十錢置ク、茲ニ此ノ法律ノ、本法ノ妙味ガアツテ危險ガアル、私ノ美シク咲イタル薔薇ノ花ニ棘ガアルト云フノハ之ヲ指ス、近代ノ巧妙ナル立法デアリマス、併シ實際ハ此ノ法律ニ依ツテ地主ハドンナニ脅威ヲ感ジ、ドンナニ自己ノ自由意思ヲ拘束スルカト云フコトヲ、苟モ人間ノ機微ニ觸レ、實際生活ヲ了得シタル者ハ、直チニ茲ニ思ヒ浮ブノガ相當デアルト存ズルノデアリマス、又更ニ此ノ委員會

ニ對シテ私共ノ懸念ニ堪ヘナイノハ、近時ノ日本ノ政黨、是ハ中央ノ政界ニ於キマシテハ自戒自肅、全ク昔日ノ面目ヲ改メテ居ルヤウデアリマス、併シ地方ニ於ケル政黨ノ弊害ト云フモノハ病膏ニ入り、戸數割ノ査定、甚ダシキニ至ツテハ縣ノ權限ニ屬スル小學校教員ノ採否、採用スルカ否ヤニ對シテモ容喙ヲスル、道路ヲ造ル、溝渠ヲ造ル、是レ皆自己ノ政黨ノ利益ヲ基礎トシテヤリ、甚シキニ至ツテハ米穀検査員ノヤウナ者モ、自己ノ政黨ニ屬スル者ヲ推薦スル、是等ノ弊害ハ今日迄牢トシテ拔ケナイ、現ニ或市ノ如キハ一様ニ鐵骨ノ魚市場ガアツテ、ソレガ眞中ニ壁ヲ仕切ツテ、甲ノ政黨、乙ノ政黨ノ二ツノ市場ガ開設ヲサレテ居ル、宿屋、料理屋、甚ダシキニ至ツテハ藝者迄モ、是ハ何黨ノ所屬ノ藝者デアルト云フ位ニ、此ノ政黨ノ弊ハ浸潤ヲシテ居ルノデアリマス、村會議員ノ選舉、村長ノ選舉ニ猛烈ナル競争ヲシ、選舉違反ノ續出スルコト云フコトハ今更申ス迄モナイ顯著ノ事實ナリト存ズルノデアリマス、而シテ此ノ地方ノ有力者ハ殆ド籍ヲ政黨ニ有セザル者ハナイ、而シテ地方ニ於ケル有力者ハ政黨ニ於ケル有力者デアリマス、是等ノ者ニ依ツタ委員會ガ政黨ノ弊害ヨリ全然脱出致シマシテ、農林大臣ノ御期待ニナルヤウナ公平政治……今日ハ裁判官、檢事、是等ノ判斷ニ對シテ、取扱ニ對シテモ議論ガアリ、其ノ信用ヲ疑フテ居ル、ソレニ此ノ民間ノ身分ノ保障ナク、給料ノナイ、監督權ノ十分デナイ所謂地方ノ有志、有力者ニ依ツテ成立タ地方委員ト云フモノガ、此ノ間ニ於ケル公正嚴正、何等ノ疑モナク處置ガ出來ルモノト云フ御確信ガ、果シテ心カラオアリカドウカ、自分ノ心ヲ欺ケバ兎ニ角デアリマス、良心カラ致シマシテサウ云フ委員ノ手ニ依ツテ公平嚴肅、何等ノ不公平ガナイト云フコトヲ保證シ得ル者ハ恐ラク私ハナイト存ズルノデアリマス、假ニ此ノ政黨壓迫、政黨ノ弊ガナイト致シ

マシテモ、耕地ヲ有セザル農民ハ多數デアリマス、利害ハ一致致シマス、動モ致シマスト團結ヲスル、ソレニハ又色々職業的ノ種々ノ人ガ背後カラ之ヲ使喚シ擁護スル、斯ウ云フ場合ニ私ハ其ノ地方委員ト云フモノガ、ソレ等ノ壓迫、ソレ等ノ使喚、ソレ等ノ脅威ニ對抗致シマシテ、完全ニ職ヲ執ルコトガ出來ルカドウカ、成程或ハ地方行政官廳ノ認可ガアルカラ宜イデヤナイカト云フ御説ガアルカモ知レマセウガ、是ハ實際ハ非常ニ弱イ、地方デ決定致シマシタル事柄モ法律的ニ調ベテ、違法デアレバ何トカ申シマスケレドモ、法律的デ、違法ガナク、唯其ノ間ニ情弊情實、單ナル不公平ト云フ場合ニ於テハ、餘程著シクナイ限りハ行政官廳ノ認可權ヲ振廻スト云フコトハ、實際問題トシテハ私ハ困難デアラウト思フノデアリマス、是ハドウ云フ風ニ委員會ガ組織ノ計畫デアアルカ十分了承ヲシテ居リマセウガ、ドンナヤウニ組織ヲ致シマシテモ、今日ノ地方ニ於ケル人々ノ人格、力、修養、サツキ青木君ノ言ハレタヤウニ、一國ノ官吏デ俸給ヲ得テ、其ノ身分ヲ保障セラレ、榮譽アル地位ニ立ツテ、居ル人デモ批判ノ餘地ガアルト云フコトデアリマスカラ、私ハ是等ノ委員ノ手ニ依ツテ、此ノ根本ノ自作農ノ設定ノ重職ニ當ラセテ、ソレガ何ノ間違ナク、地主ニ不安ガナイト云フコトハ言ヒ得ナイコトデアアルト存ズル、此ノ點ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、次ニハ大臣モ仰セニナッタヤウデアリマスガ、小作爭議ガ履行ハレテ、ソウシテ其ノ大部分ハ地所ノ引上ダ……直接ニ仰セハナイデアリマセウケレドモ、何ダカ其ノ裏面ニハ地主ノ横暴、地主ガ勝手ニ地所ヲ引上ゲルカラ、小作爭議ガ起ルガ如キコトヲ暗示セラレタヤウニ私ノ耳ニハ響イタノデアリマス、果シテソレガ其ノ通りニ實際首肯シ得ルカドウカ、是ハ衆議院

ノ委員會ニ於ケル某代議士ノ演說中ニ、近頃ノ爭議ハ惡性ニナリマシテ、小作米ヲ倉庫ニ積ミ蓄ヘ、或ハ之ヲ賣拂シテ銀行ニ預ケ入レ、サウシテ豫定ノ額迄引下ゲナケレバ支拂ハスト云フ迄ニ立チ至リ、或ハ多數團結ヲシテ地主ニ對シテ膝詰談判ヲ爲シ、甚ダシキニ至リテハ、病人ノ枕許ニ坐リ込シテ強談判スル、是ハ衆議院ノ演說ノ一節デアリマス、又或議員ハ、今日ノ我々國農村ノ狀態ハ、大地主ヨリ中地主ニ、中地主ガ小地主ニ、小地主ガ小作人ニ轉落スルト云フ誠ニ悲惨ナル狀態デアリマス、是等ハ多クノ場合小作爭議ニ原因シ、即チ小作爭議ニ依リ地主ハ勿論、小作人モ其ノ損害ヲ被リ、共ニ轉落ヲ爲シ、農村ノ荒廢ニ一大馬力ヲ掛ケテ居リマス、而シテ是等ノ小作爭議ハ多クハ職業的惡性煽動ニ依リ、或ハ又背景ニアル團體ノ陰險惡辣ノ手段ニ依リ、純眞無垢ノ良民ヲ煽動シテ、平和ナル農村ヲ騷ガシメテ居リマスト演說シテ居リマス、是モ衆議院ノ筆記カラ錄取シタモノデアリマス、斯クノ如キ事實ハ獨リ此ノ演說者ノ地方ノミニ問題デナクシテ、恐ラク全國ニ於ケル情勢デアルト存ズルノデアリマス、衆議院ニ於テ農林大臣ハ、ソレハ地方ニ依ッテ地主ガ弱ク、小作人ガ強イ場所モアラウケレドモ、又其ノ反對ノ箇所モアル、一概ニ地主ガ弱イト云フコトハ論斷シ得ナイト云フ意味ノ御演說ガアツテ居リマス、是ハ實際ト致シマシテ、其ノ御演說ヲ首肯シ得ルカ否カ、地主ハ小作人ノ協力ヲ得ナケレバ自分ノ所有土地ノ利用價格ハ皆無デアリマス、而シテ屢申述ヘマスル如ク、小作人ハ多數、他ノ小作人ト利害共通、動モ致シマスルト團結ガ出來ル、而モ近來ノ時代ノ流れ、思想ノ激化ガ之ニ拍車ヲ加ヘ、更ニ職業的色々々團體ガソレニ援手スル、イツノ例デアリマシタカ新聞紙上ニ、小學校ニ於テ小作人ノ子供ガ相集ツテ、地主ノ子供ヲ脅威ヲシテ、彼等ハ地主ノ子ナリトシテ排

斥ヲシタ、斯ウ云フコトハ恐ラク現代ニ於ケル時代相デハナイカト思フノデアリマス、二三ノ例外ハ或ハアルカモ知レマセウガ、大體ニ於テ私ハ現今ノ思想ノ流れ、是ハサウ云フ狀態ニ在ルト存ズルノデアリマス、此ノ故ニ近時ハ地主ハ只管ニ小作人ノ意ヲ迎ヘ、溫情ヲ以テ之ニ接シテ、小作人ノ激化ヲシナイヤウニ、爭議ヲ起サナイヤウニ、戰々兢々トシテ小作人ニ接シテ居ル、或ハ小作人ヲ招待シテ晚餐ヲ供スル、或ハ優良品ニ對シテ賞品ヲ授與スル、色々々方面ニ對シテ出來ルダケノ優遇對待ヲシテ居ル、小作人ハ其ノ地主ノ弱點ヲ看破シテ、何カノ機會ガアツタナラバ、此ノ弱點ニ乘ジテ自己ノ利益ヲ圖ラムトスル、是ハマア人情デアリマセウ、斯ウ云フ對立スル場合ニ於テ、對手方ノ弱點ニ乘ジテ自己ノ利益ヲ得ムトスルガ如キコトハ、是ハ戰爭デモ其ノ通り、是ハ私ハ人情デアルト存ズルノデアリマス、現ニ是ハ農林大臣ハ御想像ニモナラスコトト思ヒマスガ、昨年ノ冬本農地調整案ガ議會ニ提案ヲサレルト云フコトヲ傳ヘ聞イテ、某々ノ縣ノ小作人ハ、我々ノ小作シテ居ル地所ハイツカ自分達ノ所有ニ歸スル、法律ニ依ッテ所有ニナル、今更小作米ヲ納入スルニ及バズトシテ、十二年度ノ小作ノ未完納ニ終ツタ地方ガ相當ニアルト聽イテ居リマス、是ハ全ク廟堂ノ上ニ立ッテオイデニナル方ハ、或ハソナナ馬鹿ダコトハナイデヤナイカト云フ、御想像ニモ無イコトデアリマセウガ事實ハ事實、儼トシテ、斯クノ如キ事實ガ存在シテ居ル、斯ウ云フ思想、斯ウ云フ風潮ハ何カノ間隙、何カノ波ニ依ッテ起ラムトスル、本法ノ法律ノ目的ハ正シイカモ知レマセウ、併シナガラ何處ニカ不在地主ノ討伐……ト云フト語弊ガアリマスガ、不在地主、耕作セザル地主ヲ排斥シテ、氣ノ毒ナ小作人ヲ擁護スル趣旨ノ下ニ作ラレタモノト見テ、此ノ法律ニ依據シテ、思想ノ惡化ニ拍車ヲ掛ケル

危險ガナイカト存ズルノデアリマス、是モ衆議院ニ於ケル委員會ニ於テ、或委員ガ、私ノ村ハ從來極メテ平和ノ村デアツタ、處ガ其ノ後小作官ノ設置ニ依ッテ非常ニ小作爭議ガ増加シタ、昭和元年ニハ僅ニ六件ニ過ギナカッタ小作爭議ガ、小作官設置ノ後昭和十一年ニ至ッテハ、驚クベシ四百五十一件ノ多數ニ上ツタ、又或委員ハ……是ハマア先刻大臣ノ仰セラレタル如ク、衆議院ノ方ハ、小作若シクハ耕地ヲ有セザル人ヲ代表スル方ガ多數委員トシテ選バレテ居ツタト思ヒマスガ、其ノ委員中ニ斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル、農地委員會ノ設置ハ、小作爭議請負者ノ看板ヲ掲ゲタルト同ジト極言シテ居リマス、政府當局ハ農地委員會ハ必ズシモ作ラヌデモ宜シイ、作ルコトガ出來ルト云フダケノ規定デアルト斯ウ仰セニナルケレドモ、一面ニハ農村ノ經濟更生ヲ御圖リニナルト、他面ニハ小作人ガ斯ウ云フ法律ガ出來タ場合ニ於テ默ツテ居ナイ、矢張り此ノ委員會ノ設置ヲ迫リマス、恐ラク當初カラ政府ノ御想像ニナル如ク、全國津々浦々此ノ種ノ委員會ノ設置ヲ見ルト云フコトハ當然ノコトト思フノデアリマス、從ツテ餘程ノ注意、監督ガナケレバ、私ハ此ノ法案ノ實施ニ依ッテ却テ小作地主間ノ對立抗爭、小作地主間ノ對立抗爭ハ宜イガ、其ノ副產物ト致シマシテ階級闘爭、更ニ恐レベキ思想惡化ニ拍車ヲ掛ケルト云フ危險ヲ虞レルモノデアリマス、此ノ點ニ對スル政府ノ御所見ヲ承リタイ、次ニ地主……總テト申上ゲマセウ、例外モアリマス、併シ私共ノ知ル限りニ於ケルマシテハ、大體此ノ大中地主ハ其ノ地方ノ政治ノ中心デアリ、經濟機關ノ樞機ニ與ッテ居ル、サウシテ灌溉、排水、耕地整理、更ニ農產物ヲ運搬スル道路ノ開通、更ニ農業ノ副業タル工業、是等ニ對スル資本主デアリマス、又其ノ大中地主ノ子弟ハ專門學校或ハ農業學校、斯ウ云フモノニ學ンデ、土地ノ青年、一般ノ風紀ヲ維持シ、更ニ農業其ノ他ノ各産業ニ對シテ指導

ヲスル、申ス迄モナク、近來防空演習ニ於ケル各種ノ重要ナル機關、或ハ國民精神總動員ニ於ケル主ナル役目、或ハ農會……縣村、此ノ農會ノ首腦ハ皆大中地主デアリマス、即チ是等ガ中心トナツテ農村ノ政治經濟、風紀、産業、其ノ他、其ノ間ニ對スル重要ナル役目ヲナシテ居ル、若シ是等ノ者ヲ除外シテシマツタナラバ、全ク私ハ地方ハ寂寞、耕地ノ改良ハ勿論、耕地整理、副業、産業、是等モ全然衰頹スルノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ法案ノ施行ニ依リマシテ、地主ハ經濟更生ノ下ニ委員會ノ決議ニ依ッテ、地所ハ奪ハレルト云フト語弊ガアリマスケレドモ、買ハレル、値段ハ委員會ノ決定デアル、小作人ハ威張ル、重壓ヲ加ヘル、全クドウモ不安デアリマス、今日能ク不在地主、地主ガ都市集中ヲスルノハ結局是等ノ重壓ニ堪ヘナイ結果デアリマス、此ノ法案ノ實施ニ依リマシテ土地ニ對スル執著心ガ無クナツタ、地所ヲ賣捌ク、賣捌クコトガ本案ノ目的デアリマセウ、賣捌イデソレガ各小作人ノ手ニ歸シテ自作農ガ出來ル、此ノ大中地主ハ是等ノ地ヲ賣ツテシマツテ、其ノ金ヲ株主ノ他ノ資本ニ下シテ、皆中央都市ニ集ル、斯ウ云フコトデ私ハ從來ノ極メテ善良ナル家族の富メル者、貧シキ者、地主、自作者、小作人、是等ガ皆イ工合ニ抱合フテ、圓滿ニ村政ヲ料理シ、經濟ヲ經營シタモノガ、其ノ中心人物ヲ失フヤウニ、此ノ法案ノ第一條ニ期待スルヤウナ目的ヲ達スルコトガ出來ルカ否カト云フコトニ付テハ、多大ノ疑ヲ持ツ者デアリマス、以上大體本會議デアリマスルカラ、私ハ此ノ法案ノ各條ニ對シテ相當ノ疑モアリマスルシ、御尋モシタイト存ジマスルケレドモ、本會議ニ左様ナ質問ヲ申述ベテ各位ノ御清聴ヲ煩スト云フコトハ恐縮千萬ニ存ジマス、是ハ何レ委員會等ニ於テ各委員ヨリ御質疑ニ相成ルコトト思ヒマスルカラ、大體ノ質問クニ止メテ置キマス、之ニ對シテ或ハ政府

ハ、ソレハ政府ノ方デハ此ノ案ヲ以テ所期ノ目的ヲ達スルコト云フ確信ガアル、オ前ノ方ハソレハ達シ得ナイ、ソレハ意見ノ相違デハナイカ、斯ウ云フコトデ御答辯ニ相成ルカモ存ジマセヌケレドモ、私ハ此ノ重大法案ヲ審議スルニ當リマシテ、私共ハ虚心坦懷、眞ニ心カラ心配ラシテ居リマスル所ヲ率直ニ申述ベシテ、御意見ヲ質シ、幸ニ明敏ナル農林大臣ノ御答辯ニ依ツテ、私共ノ蒙ラ啓クコトガ出來マシタナラバ、本案ノ審議ニ對シテ非常ニ都合ノ好キコトデアルト存ズルデアリマス、野人禮ニ嫻ハズ、言訥不遜ヲ極メマシタ點、謹ンデ御詫ヲ致シマシテ、農林大臣ノ御答辯ヲ拜聴致シタイト存ジマス(拍手)

(國務大臣伯爵有馬頼寧君演壇ニ登ル)
○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 山隈サンノ御質問ニ御答ヲ申上ゲマス、御質問ニ御入

リニナリマスル前ニ、是ハ質問デハナイケレドモト言ツテ、現下ノ時局ニ對スル認識ニ付テ御述ニナリマシタ、一應ハ私ノ意見モ申上ゲタ方宜シイト考ヘマスノデ簡單ニ申上ゲマス、私ガ農村ノ基礎ヲ自作ト小作ニ重キヲ置イテ、地主ト云フモノヲ度外視シテ居ルコト云フコトハ甚ダ誤リ居ル、農村ハ地主ト自作ト小作ト是等ノ者ガ集リカラ協セテ、初メテ農村ノ繁榮ヲ來スコトガ出來ルト云フ御意見デアリマシタ、私モ決シテ農村ノコトハ自作ト小作トダケ考ヘレバ宜クツテ、地主ノコトハ何等考慮ニ入レル必要ガナイト云フヤウナ意味ハ申上ゲタ積リハゴザイマセヌ、唯所謂農業政策上ノ斯ウシテ法制ヲ設ケマス上ニ於キマシテ、矢張り最モ力ノ弱イ自作ナリ小作ナリ、生活ノ困難ヲ致シテ居リマスル人々ヲ主トシテ向上セシメルト云フ所ニ力ガ入ラレマスコトハ、當然カト考ヘルデアリマス、勿論地主ノ方々モ今日ハ決シテ樂デナイト言ハレマス、其ノコトニ私ハ決シテ異議ハ申シマセヌ、併シ地主ノ方々ガ今日農業經營上困難デアルト仰シヤルコトト、小サナ

所謂小作ノ人々ノ實際ニ困難ラシテ、其ノ日ノ生活ニモ困ツテ居ルト云フコトトハ私自カラ差違ガアルト思フデアリマス、政府ガ農林政策ト致シマシテ諸種ノ法制ヲ設ケ、政策ヲ講ジマスル場合ニ於キマシテハ、無論地主、自作、小作、有ラユル農村ノ方面ニ向ヒマシテ、適正ナル方策ヲ講ジマスコトハ申上ゲモゴザイマセヌガ、此ノ際ノ農地ノ調整法ト致シマシテハ、所謂耕作ヲシテ居ル者ノ地位ヲ安定セシメテ、ソレニ依ツテ農村ノ平和ヲ招來シ、農産物ノ増産ヲ圖リタイト云フコトガ、特ニ此ノ戰時ニ際シテ私共ハ考ヘラレタデアリマス、モウ一ツノ點ハ地主ニモ惡性ノ者ガアルケレドモ、大體ニ於テ恒産ノアル者ハ恒心ガアルト昔カラ言フガ、全體トシテ地主ハ善良デアルト云フ御意見デアリマシテ、私モ決シテ地主ガ惡イ者バカリアルト云フコトヲ申上ゲタ覺エハアリマセヌガ、私共ノ承知致シテ居リマスル所ニ依リマスレバ、小作人側ノヤウナ亂暴ナコトヲ致シタト云フヤウナコトハ無論ゴザイマセヌデセウケレドモ地主ノ方デ相當小作人ニムジカシイ條件ヲ出シテ小作セシメテ居ルト云フヤウナ例モ必ズシモ私ハ尠クナイト思フデアリマス、小作人側ガ非常ニ亂暴ナコトヲシテ、小作爭議ガ非常ニ險惡デアルト云フ御話デゴザイマセヌガ、私ノ記憶シテ居リマスル限リニ於キマシテハ、大正六七年頃ノ新潟縣、岐阜縣、香川縣其ノ他ノ小作爭議ノコトヲ想ヒ起シマスレバ、今日ノ小作爭議ト云フモノハ隨分穩カニナツテ來タト思フデアリマス、アノ熾烈ナ小作爭議ト云フモノガ、必ズシモ思想問題カラノミ起ツタト私ハ考ヘテ居リマセヌ、今日迄長イ間隨分苦シイ立場ニ置カレテ來タ人達ガ、誤ツタ考ヲ持ッタ人モアリマセウシ、又第三者ノ教唆ニ依ツテヤツタモノモゴザイマセウケレドモ、併シ其ノ間ニ私ハ必ズシモ地主ノ方ニ全然過失ガナカッタトモ私ハ考ヘラレナイデアリマス、此ノコトハ山隈サンノ仰セラレルコト

モ誤ツテ居ラスト思ヒマスシ、私ノ申上ゲルコトモ必ズシモ全部間違ッテハ居ナイト考ヘマス、御尋ノ第一點デアリマスガ、此ノ法案ニ依リマシテ自作農ヲ造ツテ見テモ、造ラウトシテモナカク、條件ガ惡イカラ、自作農ハ思フヤウニハ出來モシナイシ、又維持モ出來ナイダラウ、ソレハ政府ガ自作農創設ノ爲ニ出ス所ノ資金ト云フモノガ十分デナイカラ、ダカラ資金ノ借入ヲシナケレバナラナイ、サウ云フ資金ノ借入ヲスル所ノ力ハナイ、從ツテサウ云フ者ハ所謂繪ニ描イタ餅ノヤウナモノデ、折角出來テモ本當ノ自分達ノ望ヲ果スコトハ出來ナイダラウ、斯ウ云フ仰セデアリマシタ、過去ニ於テ一億以上ノ多額ノ金ヲ使ヒマシテ行ヒマシタ自作農創設ト云フモノガ、今日却テ自作農ガ減ツテ居ルデヤナイカ、其ノ效果ハ舉ツテ居ナイト云フ仰セデアリマシタ、成程自作農家ト致シマシテハ、寧ろ減少ヲ致シテ居リマスルガ、自作地ハ却テ殖エテ居ルデアリマシテ、私共工業ノ生産ナドト違ヒマシテ、此ノ自作農ヲ維持シ、創設スルト云フヤウナ事業ハ、金ヲ注込ミマシタカラト云ツテ、ソレダケ形ノ上ニ著タシテ出テ來ルト云フコトハ、勿論私共ハ期待ハ致シテ居リマスルガ、農村ノ實情ト致シマシテハ、サウ云フコトハナカク、望ミ得ナイデアリマシテ、少シデモ自作農ガ減ツテ行クト云フコトヲ防ギ得ルトスレバ、ソレデ一部ノ目的ハ達シ得タト私達ハ考ヘ得ルト思フデアリマス、若シ之ヲ放任致シマスナラバ、殆ド非常ナ勢デ是ガ顛落シテ行クノデハナイカト考ヘルデアリマス、買收價額ノコトニ付キマシテ御述ニナリマシタガ、政府ノ自作農創設ノ資金ハ、原則ト致シマシテハ、買收價額ノ全部ヲ貸出スコトニナツテ居リマス、唯併シ自分デ金ヲ持ッテ居リマシテ、其ノ全部ヲ借りル必要ノ持ッテ居ル者ニ對シマシテハ、勿論必要ナルモノダケヲ與ヘマスルシテ、又ダカラ不足ノ分ヲ借入レナケレバナラナイヤウナ情況ニアリマス者ニ

對シテハ、自作農ノ資金ハ貸出ヲ致サナイコトニナツテ居リマス、金利ノ引下ゲニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ簡易保險ノ資金ト預金部ノ資金ヲ融通致シテ居リマスルノデ、預金部資金ハ其ノ儘融通ヲ致シマスケレドモ、簡易保險ノ方ハ御承知ノヤウニ利子ガ高ウゴザイマスノデ、政府ガ之ヲ補給致シマシテ、三分二厘貸シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、是レ以上ニ補給ラシテ利子ヲ引下ゲマスルコトハ、今日ノ場合相當困難カト考ヘテ居リマス、償還年限ノ延長ノ問題ニ付キマシテモ同様デアリマシテ、是ハ必ズシモ短期デハナイト私共ハ考ヘテ居ルデアリマス、手續ノ簡易ト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ總テノ問題ニアルコトナデアリマシテ、仰セノ如ク出來ルダケ簡易ニ致サナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、不動産取得稅ノ問題ハ、是ハ自作農ノ場合ダケ之ヲ免除致シマスルト云フコトハ、出來ニクイト云フ財務當局ノ意見デ、是ハ實現致サナカッタデアリマス、要スルニ此ノ法案ノ成立ニ依リマシテ、自作農ガ維持サレルト云フコトハ、私共確信ヲ致シテ居ルデアリマシテ、ソレガ出來ナイト云フコトデアリマスレバ、此ノ法案ノ價值ハ甚ダ薄クナル譯ナデアリマス、出征ノ兵士ガ自分ノ土地ヲ耕作スルコトガ出來ナカッタリ、或ハ手離サナケレバナラナカッタヤウナ場合ニ於キマシテハ、適當ナ團體ニ於テ、之ヲ一時預ルナリ、或ハ買取ルナリ致シマシテ、其ノ兵士ノ歸ツテ參リマシタ時分ニ、再び之ヲ戻スコト云フ方法ヲ執ツテ居リマスシ、又自作農ニ對スル土地ノ、何ト申シマスシ、或ハ貸付トカ、或ハ賣渡トカ云フモノニ付キマシテ、或制限ヲ加ヘマスコトモ、是モ自作農維持ノ場合ニ於キマシテ已ムヲ得ナイコトカト考ヘテ居リマス、尙負擔ノ輕減トカ、或ハ農産物ノ價格ヲ維持スルコトカ、若シハ自作農ノ負債ノ整理ヲ致シマスルコト云フコトニ依リマシテ、此ノ法案ト相伴ツテ參リマスレバ、自作農ノ維持ト云フコ

トハ決シテ達成サレナイコトハナイト考ヘテ居リマス、次ニ第四條ノ關係ノコトデアリマスガ、經濟更生ノ必要ノ場合ニ、道府縣市町村若シテハ命令ヲ以テ定ムル所ノ團體ガ、土地ヲ取得致シタイト思ヒマスル場合ニ、地主ニ對シテ協議スルコトガ出來ルコト云フ規定ガゴザイマス、是ハ農村更生ト云フ農村全體ノ情況ニ依リマシテ、地主ノ土地ヲ讓テ貰フコトガ必要ナリト認メマシタ場合ニ、行政官廳ニ於テ之ヲ認可致シマスレバ、其ノ賣渡ヲ協議スルコトガ出來ルコトニナリマス、併シ此ノ場合ニ特ニ此ノ規定ヲ入レテ居ル譯ナリデアリマス、唯御話ノ農地委員會ガ其ノ價格ヲ決定スルコト云フコトハ、甚ダ不都合ダト云々ナリコトハ御話ガゴザイマシタガ、決シテサウ云フコトハ農地委員會デハ致サナイノデアリマス、第四條ノ所謂地主ノ土地ヲ道府縣市町村其ノ他ノ團體ガ經濟更生ノ爲ニ買ヒ取りマスル協議ヲ致シマスコトニ對シテ、農地委員會ガ其ノ價格ヲ決定スルコトカ、或ハ賣渡ヲ強要スルコト云フヤウナコトハ致サナイノデアリマスガ、其ノ點ハ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ御尋デアルカドウカ能ク分リマセヌガ、農地委員會ニ關聯シテ御意見デアッタト思フノデアリマスガ、地方ニ於ケル政黨ノ弊害ニ付テは御述ニナリマシタ、委員會ガ其ノ政黨ノ弊害ヲ脱スルコトガ出來ルカ、サウシテ果シテ公平ナル委員會ヲ作ルコトガ出來ルカドウカト云フ御話デアリマシタガ、私共ハ所謂村ノ村長ヲ初メ村ノ有力者ナリ、又ハ地主ノ方々ナリ、其ノ他色々方面ノ人ガ居ルノデアリマスカラ、少クトモ地方ノ農村ノ眞ノ更生ト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、必ズシモ政黨ノ人ガ對立シテ、總テノ紛糾ノ因ヲ成シテ居ルトノミハ私共ハ考ヘナイノデアリマシテ、色々惡イ例ヲ御舉ゲニナリマシタガ、ソレハ勿論惡イ所ノ例モゴザイマス

ガ、私共ノ承知致シテ居リマス所ニ依リマスレバ、其ノ村ニ於ケル總テノ人々ガ協議ヲシテ、非常ニ旨ク村ガ行ツテ居ルト云フ實例モ決シテ尠クハナイノデアリマシテ、其ノ點ハ將來實際ノ運用ノ場合ニ於テ十分ニ考慮ヲ致シマスレバ、誤リナキヤ期スルコトガ出來ルト考ヘテ居リマス、第三點ノ小作爭議ノ問題デアリマスガ、小作爭議ノコトニ付キマシテ色々御述ニナリマシタ、ソレニ付テ私共又意見ヲ申上ゲテハ、却テ事ガ長クナリマスシ、紛糾ヲ致シマスカラ申上ゲマセヌガ、私共最近數千件モアル所ノ小作爭議ト云フモノガ、地主ノ土地引上ニ起因シテ居ルノダト云フコトヲ申上ゲタリマス、地主ガ不都合ダカラト云フヤウナ意味デ私共申上ゲタト云フ風ニ御取リナリマシタケレドモ、私ハ決シテサウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマセヌ、今日アル所ノ數千件ノ小作爭議ト云フモノガ、其ノ多クガ土地ノ引上ニ起因シテ居ルト云フ事實ヲ申上ゲタニ過ギナイノデアリマス、此ノ法律ガ出來マスルコト云フ、小作爭議ガ却テ殖産エダラウ、農地委員會ト云フヤウナ札ラブラ下ゲルト、ソレガ爭議引受所ト云フヤウナコトニナリマス、小作爭議ヲ誘發スル虞ガアルコト云フヤウナコトハ、是ハ衆議院ニ於テノ質問ニモアッタノデアリマス、私共ハ此ノ法案ヲ提出スルニ當リマシテ、兎ニ角農村ノ平和ト云フコトヲ標榜致シテ居リマス、決シテ小作爭議ヲ誘發スルコト云フヤウナ虞ノアルコトヲ、強ヒテ規定致スト云フヤウナコトハ毛頭考ヘテ居リマセヌ、又農地委員會ト云フヤウナモノモ、現在小作爭議ガ相當ニアツテ困ツテ、調停ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ所ニハ、或ハ強ヒテ獎メテ設立ヲ致ス場合モゴザイマスケレドモ、平和ナ何事モナイヤウナ所ニ、強ヒテ農地委員會ヲ作レト云フヤウナコトヲ強要スルヤウナコトハ致サナイ積リデアリマス、其ノ他不在地主ノ問題ヤ、大中ノ地主ノ事柄ヤ、小作官設置ノ爲ニ小作爭議ガ殖エタ

トカ、色々御述ニナリマシタケレドモ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ私共兎ニ角申上ゲマスルト、誤ツテ、個人トシテノ意見ヲ申上ゲルヤウナ虞モナイデハゴザイマセヌカラ、唯私共ハ此ノ法案ノ成立ニ依リマシテ、決シテ小作爭議ヲ誘發スルヤウナ虞ハナイト信ジマスルシ、又サウ云フ虞ガ假ニアリト致シマスナラバ、出來ルダケソレヲ防止スルコトニ付キマシテ、同時ニ色々ナコトヲ致シテ參リタイト考ヘテ居リマス、詳シイコトハ又委員會ニ於テ、御尋ニ從ヒマシテ御答ヘ申上ゲタイト存ジマス

○山隈康君 只今ノ農林大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、農林大臣ノ御趣旨ダケハ一應了解致シマシタ、此ノ以上ハ意見ニ互ル虞ガアリマス、先ヅ一應是デ本會議ニ於ケル質問ヲ打切りマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 質疑ノ通告者ハ君ニテ終リマシタ

○子爵澤正己君 只今上程セラレマシタ農地調整法案ハ頗ル重要ナル法案デアリマシタガ故ニ、此ノ特別委員ノ數ヲ二十五名トシ、議長ニ其ノ指名ヲ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナシト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

(丸龜書記官朗讀)

農地調整法案特別委員

公爵一條 實孝君	公爵鷹司 信輔君
侯爵池田 宣政君	伯爵黑木 三次君
子爵野村 益三君	子爵米津 政賢君
子爵八條 隆正君	子爵織田 信恒君
松村眞一郎君	太田 政弘君
男爵本多 政樹君	男爵足立 豐君
男爵三須 精一君	男爵稻田 昌植君
男爵岩村 一木君	宮田 光雄君
赤池 濃君	石川 三郎君

上松 泰造君 仲田傳之助君
小林嘉平治君 山本 米三君
絲原武太郎君 青木才次郎君
河井 彌八君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第二、市街地建築物法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長會我子爵

(左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ)

市街地建築物法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十三年三月七日

委員長 子爵會我 祐邦
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

(子爵會我祐邦君演壇ニ登ル)

○子爵會我祐邦君 只今上程セラレマシタ市街地建築物法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、今回此ノ法案ヲ提出セラレマシタ其ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲタイト存ジマス、現今行ハレテ居リマスル所ノ市街地建築物法ト云ヒマスルモノハ、大正八年ニ第三十七號ヲ以テ制定セラレマシタ、大正九年ニ其ノ一部ノ改正ヲ見タノデゴザイマス、而シテ今日ニ及ビマスルト相當ノ成績ハ擧ゲテ居ルト云フコトデゴザイマスルケレドモ、時勢ノ推移其ノ他特ニ交通、或ハ防空、及保健衛生ノ上カラ見マシテモ、其ノ改正ノ必要ヲ認メタノデゴザイマス、改正ノ要點ハ、第一、居住專用地區ト云フモノト又工業專用地區ト云フモノヲ拵ヘタコトデゴザイマス、現今ノ居住地區内ニ於キマシテハ、住宅以外ノ建築物モ相當ニ現存シテ居ルノデゴザイマス、爲ニ住居者ノ安寧トカ、保健ノ安全ヲ期スルコトカ、甚ダ思ハシクナイト云フ點モゴザイマスルガ故ニ、今回ハ居住專用地區ト云フモノヲ選定致シマシテ、居住者ノ安寧ト其ノ家族ノ健康安全ヲ保護シ、併セ

テ環境ノ整正ヲ圖ラムト欲スルモノデアリマス、又工業地帯ニ於キマシテハ、現在ハ其處ニ建築セラレテアリマス所ノ建築物ノ用途ハ無制限ニナツテ居リマシテ、即チ言換ヘマスレバ、埋立地、運河等ガゴザイマシテ、工業地帯ニ最モ適スルモノガアルニ拘ラズ、其處ニハ住宅デアルトカ、商店デアルトカ云フモノガ混ツテ建築セラレテ居ルノデアリマス、今回ハ工業專用地區ト云フモノヲ選定シテ、以テ土地利用ノ適正ヲ圖リ、産業能率ノ増進ヲ期セムトスルノデアリマス、第二ハ高度地區及空地地區ト云フモノニ關スルコトデゴザイマス、此ノ言葉ハ餘リ我々ハ耳馴レテ居リマセスガ、極ク簡單ニ申上ゲマスレバ、或地區ニ於キマシテハ三階以下ノ建築ヲシテイケナイ、四階以下ノ建築ヲシテイケナイト云フコトノ指定ヲスル意味デアリマス、又反對ニ或地區ニ於キマシテハ何「メートル」以上ノ建築ヲシテイケナイト云フコトデアリマス、之ヲ實際ニ申シマスレバ、或ハ新宿ノヤウナ所デアリマス、ア、云フ所ニハ大キナ建築物ヲ命ジマシテ、或ハ伊勢ノ神宮ノ外宮ノ前デアリマス、皇居ノ附近ニ於キマシテハ高イ建築ヲ許シマセス、一ハ高サニ於テ最高ノ限度ヲ指定シ、一ハ最低ノ限度ヲ指定シテ、建築物ヲ指定セムトスルモノデアリマス、又空地ト申シマスモノハ、邸ノ中ニ家ヲ造リマス其ノ面積ノ比例ヲ指定シテ決メヨウト云フノデゴザイマス、例ヘバ三割ニ決メルトカ、四割ニ決メルトカ云フヤウナコトデアリマス、之ヲ言換ヘマスレバ、其ノ空地ノ目的ト云フモノハ詰リ空爆ニ對スルヤウナ場合ニ、其ノ危險ニ對スル安全率ヲ殖サウトスル目的デゴザイマス、第三ノ建築物ノ構造、設備、或ハ敷地ニ關シマシテハ、現行ノ規定ニ於キマシテハ、主務大臣ガ衛生又ハ保安ニ必要ナル規定ヲ設ケテ居リマス、今回ハ特ニ防空上ノ必要ト云フコトヲ考ヘマシテ、空爆ニ依ル所ノ禍害ヲ輕減セムト欲スルモノデゴ

ザイマス、第四、道路ノ幅員ニ關スルモノデゴザイマス、現行法ニ於キマシテハ、道路ハ九尺以上ノモノト云フコトニナツテ居リマシタガ、自動車ノ發達及モノノ交通、火災ノ延焼ノ防止、或ハ採光通風保健等ノ點カラ見マシテ、特ニ防空ノ見地カラ見マシテ其ノ必要ヲ認メ、幅員ヲ四「メートル」以上ヲ道路トスルコトヲ改正セムトスルモノデゴザイマス、併シナガラ特殊ノ理由ニ基キマシテハ、此ノ四「メートル」ト云フモノモ二・七「メートル」以上ノモノヲ道路ト云フコトヲ認メヨウト云フコトデゴザイマス、以上ガ此ノ法案ノ提案サレタ主ナル理由デゴザイマス、只今其ノ質問應答ノ主ナルモノヲ申上ゲヨウト思ヒマス、專用居住地區ニ現在既ニ存在シテ居ル所ノ住宅以外ノ建物ニ對シマシテハ、或ハ年限ヲ附シテ改造セシムルコト、或ハ禁止スルコト、或ハソレヲ如何ナル方法ニ依ツテ之ヲ制限セムトスルヤト云フ間ニ對シマシテハ、現在ノ所デハ十分考ヘ練シテ居リナイケレドモ、將來年限ヲ附スルヤウナコトモアルカモ知レナイガ、併シナガラ唯現在在ル建物ニ對シマシテハ、其ノ増築ノ場合、若シクハ改造ノ場合ニハ、直チニ或程度ノ制限ヲシテ行キタイト云フ考デアルト云フ御答辯デゴザイマシタ、今回ハ防空施設ト云フコトニ對シテ大イニ考ヘテ居レルガ、防空ノ設備ト云フコトハ一體如何ナルコトヲ爲サムトスルノデアルカ、之ニ對シマスル答ト致シマシテハ、防空ノコトハ非常ニムツカシイ、併シナガラ過去ノ經驗ニ鑑ミテ唯一ツ明カナコトハ、鐵筋「コンクリート」ノ建物ガ爆彈ニモ、燒夷彈ニモ抵抗ガ非常ニ強イト云フコトハ、明カニ證明サレタヤウナ氣ガスル、デアアルカ大キナ「ビルディング」ノ如キモノニ對シテハ、所謂爆彈除ノ目的ヲ以テ地下室ノ改造ヲ命ズルコト、新シク建テ「ビルディング」ニハ之ヲ制定セムトスルコト云フヤウナ考ヲ持ツテ居ル、或ハ一般市民ノ地下室ニ入ルヤウナコトモ出來

ルヤウナモノヲ考ヘヨウカト思ツテ居ルト云フヤウナ御説明デゴザイマシタ、問、空爆ト云フコトヲ考ヘルト直チニ火災ヲ聯想シナケレバナラス、火災ヲ聯想スルコト云フ場合ニハ直チニ水ト云フコトヲ考ヘナケレバナラスデハナイカ、殊ニ我が國ノ如キ地震國ニ於テハ、一朝非常ナ時ニ於テハ直チニ水道ヲ當テニスルコトガ出來ナイト云フコトハ、過去ノ震災ニ於テモ明カナ例デハナイカ、今回ノ法案ガ實施セラレル時ニハ地下水ノ應用、即チ鑿井ノ利用等十分考ヘル必要アルト思フガ、政府ハドウ思フカ、殊ニ此ノ水ノ問題ト云フモノハ防火ノ目的以外ニ於テ、所謂一般人民ノ生命ニ關スル重大ナ問題デアルト云フコトハ申ス迄モナイコトデハナイカ、之ニ對シマスル答ト致シマシテハ、政府ハ此ノ點ニ付テハ大イニ心配ヲシテ居ル、井戸若シクハ貯水槽ヲ造ルコトニ於テハ急務デアルト云フコトハ豫算ヲ取ツテ、全國ニ約二百四十六個ノ貯水槽ヲ主ナ都市ニ造ラムト今考ヘテ居ル次第デアル、問、第十二條ノ中ニ衛生上、保安上ト云フコトガ並ベテアルガ、今度ハ其ノ終リニ防空上ト云フコトヲ附加セラレタ、今回ノ改正ニ於ケル唯一ノ防空ト云フ言葉デアル、即チ防空ト云フ字ガ僅カニ此處ニ入ッテ居ルバカリデアアルガ、如何ニモ防空ト云フコトニハ從來迄ニモ考慮スルコトガ非常ニ薄カッタコトヲ痛切ニ感ズル、今回ノ改正ニ依ツテ防空ニ關シテ十分ニ市街地建築物ノ關係ガ法案ニ載セ盡シテ、是ガ防空ヲ全ウシ得ルコト考ヘルヤ否ヤ、先ヅ言換ヘマスレバ十分デハナイカト云フ御質問デゴザイマシタ、之ニ對シマシテ政府ノ答ハ、今回ノ防空ニ關スル規定ノ設ケラレタコトハ、結局建築物ニ關スル防空設備ヲ完成シタイ見地カラ制定シタノデアアル、併シナガラ此ノ防空ト云フコトノ完璧ハドウモ理想的ニ期スルコトハ困難デア

ルニ付テ十分ノ設備ヲ爲シ、其ノ爲ニ將來ハ或ハ國庫ノ補助モ必要デアアルカモ知レナイ、但シ本條ノ十二條ニ防空上ニ必要ナル規定ヲ今後ドウ云フ風ニ設ケルカニ付テハ、今後中央防空委員會ニ徵シテ、ソレニ依ツテ決定シタイト考ヘテ居ル、問、現在ノ市街地ノ建築物法ニ適用セラレテ居ル市町村ノ數ハ幾ラアルカ、又其ノ法案ノ一部ヲ改メラレテ居ルモノハ幾許デアアルカ、答、現在ノ市町村ノ數ハ二百九十九デ、其ノ内全部建築物法ノ適用サレテ居ルモノハ三十四町村デアアル、此ノ三十四町村ニ對シテ今後改正セラレタ所ノ規定ガ適用サレルコトヲ得ルト思フ、其ノ他主ナ質問及希望ヲ御述ニナリマシタ點ヲ一纏メニシテ申シマスレバ、一、專用地區ニ付テハ、地區指定ニ際シ餘リニ廣範圍ニ於テ之ヲ指定スルコト日常生活ニ朝夕不便ヲ感ズルヤウナコトガアルカモ知レナイカラ、十分ソレ等ハ注意スルコトガ必要デハナカラウカ、更ニ地區指定ノ際ニ現在スル所ノ不合格ノ建築物ニ付テハ其ノ増築、改築、再築ニ際シテ相當制限ヲ設ケルコト、住居專用地區内ニ於テハ假令規模小ナル店舗ト雖モ、原動力ヲ使用スルヤウナモノハ之ヲ制限スルコトニ、防空上ノ規定ニ付テハ將來建築物ノミナラズ既存ノ建築物ニ對シテモ成ルベク之ヲ適用スルコト、又特ニ一般木造建築物ヲ可及的防火的ナラシムルコトガ非常ニ必要ナルコトデア

ルカラ、ソレニ對スル十分ノ研究ヲサレムコトヲ希望スルコト云フコトデゴザイマス、三、井即チ塵埃ヲ埋立テテアル所ノ土地ニ對シテハ特ニ衛生上十分注意ヲシナイト、或ハ毒瓦斯ガ發生スルコト、或ハ地盤ガ下ルトカ、或ハ臭氣ノ堪ヘザルモノガ出來ルトカ、衛生上非常ニ注意ヲ要スル、外國ニ於テハ「ドイツ」ノ如キハ斯カル條件ノ土地ニハ建築ハ許サナイ法案ガアル、「イギリス」ノ如キハ非常ニ之ニ制裁ヲ加ヘテ居ルガ、日本デハソレ等ニ付テハ少シモ構ツテナイヤウデアアルガ、之ニ對スル十分ノ注意ヲ要

ト規定シタケデハ、一番大キナモノヲ逃
ガスト云フコトニナルノデアリマスカラ、
是ハ是非加ヘテ然ルベキモノデアルト云フ
コトデアリマシタ、仍テ前申上ゲマシタ趣
旨ヲ含マセマスヤウニ修正セラレタノデゴ
ザイマス、之ニ對シマシテ政府モ同意ヲ致
シマシタ、右申述ヘマシタ通りニ全會一致、
修正決議ニ相成リマシタ、以上甚ダ簡單デ
ゴザイマスガ御報告ヲ申上ゲマス、尙詳細
ノコトハ速記ヲ待ッテ御承知ヲ願ヒタイ
ト存ジマス

○子爵大河内輝耕君 簡單ニ質問致シタイ
ト存ジマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマ
ス

○子爵大河内輝耕君 只今委員長ノ御報告
デ大體ノコトハ能ク分リマシタノデスガ、只
今修正ノ箇所ガアツタト存ジマス、其ノ修正
ノ箇所ハ政府デモ同意サレテ居ルト云フコ
トデアリマスルカラ、此ノ際政府委員カラ
伺ヒタイノデゴザイマスガ、其ノ修正ノ意
味ハドウ云フ意味ニ實際ナツテ居リマスカ、
法律的ニ申シマスト範圍ガ廣クナツテ居ルカ
ト存ジマスガ、ドウ云フ風ニ廣クナリマシ
タノデスカ、之ヲ一ツ法律的ニ一應御説明
ヲ願ヒタイト思ヒマス

(政府委員木暮武太夫君演壇ニ登ル)

○政府委員(木暮武太夫君) 只今ノ大河内
子爵ノ御質問ニ御答ヘ申上ゲマス、委員長
カラ詳細御説明ニナリマシタ通りニ、有價
證券業取締法案ノ第八條ハ原文ニ於キマシ
テハ「有價證券業者ト其ノ業務ニ關シ取引
ヲ爲シタル者ハ有價證券業者ガ其ノ取引ニ
關スル契約ニ違反シタル場合ニ於テ其ノ違
約ニ因ル債權ニ關シ前條ノ營業保證金ニ付
他ノ債權者ニ先チ辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有
ス」ト云フ風ニナツテ居リマシタモノヲ御修
正ニ依リマシテ「有價證券業者ト其ノ業務
ニ關シ取引ヲ爲シタル者ハ其ノ取引ニ關シ
生ジタル債權ニ關シ前條ノ營業保證金ニ付
他ノ債權者ニ先チ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス」

トナツテ居ルノデゴザイマス、原案ニ於キマ
シテハ有價證券業者ノ供託致シマシタ營業
保證金ニ付キマシテ、顧客ガ有價證券業者
ガ約束ヲ破リマシタ場合ニ、違約致シマシ
タ場合ニ、其ノ違約辨償ノ請求權ヲ有スル
ト云フ建前ニナツテ居リマシタノデアリマス
ガ、修正案ニ於キマシテハ違約ノ場合バカ
リデナク不正行為ニ基ク辨償ノ請求權ヲ持
タセル、言葉ヲ換ヘテ申シマスルナラバ、
不當利得返還ノ請求權デアルトカ、或ハ不
法行為ニ因ル損害賠償ノ請求權ト云フモノ
ヲ之ニ依ッテ得ルコトガ出來ルト云フ風ニ修
正案ニ依ッテナリマシタノデゴザイマス、實
際問題ト致シマシテハ、多クノ場合ニ於キ
マシテ不正行為ニ依ルモノガ契約違反ニ依
ルモノト竝行シテ參リマスモノデスカ、從
來澤山ノ例ガゴザイマスケレドモ、大部分
ハ契約違反ト云フ中ニ不正行為ニ因ルモノ
ガ包含サレテ居リマシタ、實際問題トシテ
ハ從來何等ノ問題ガ起ラナカッタノデゴザイ
マスケレドモ、併シ理論上考ヘラレルコト
ハ、契約違反ニ因ラズシテ不正ノ行為ガア
ルト云フコトモ法律上考ヘラレルノデゴザイ
マシテ、契約違反ガナイ場合ニ不正ノ行
爲ガアルト云フコトモ考ヘラレルノデゴザイ
マシテ、斯ウ云フ場合ニモ取引ヲ致シテ
居リマスル所ノ大衆ノ利益ヲ保護スルト云
フコトハ、必要デアラウト當局デモ考
ヘマスノデ、此ノ修正ニ依リマシテ此ノ原
案ニアリマス、唯契約違反ノ場合ノ顧客ノ利
益ヲ保護スルト云フダケヨリモ進ンデ、稀
ニ因ル場合ノ顧客ノ利益ヲ保護スルト云フ
風ニ、廣ク御修正ニナリマシタ點ニ付テハ、
政府ト致シマシテハ差支ナイト考ヘテ居ル
ノデゴザイマス、尙此ノ條文ニ基キマシテ
優先シテ辨濟請求權ヲ持ツト云フコトハ、
此ノ優先辨濟ノ請求權ハ、特別ノ先取特權
ト解釋致スベキモノト考ヘラレルノデゴザイ
マシテ、國稅徵收法ニ依リマスル國稅ガ

先ヅ優先致シマスル外ハ、一切ノ他ノ債權ニ
優先致シマスルト考ヘテ居ルノデゴザイマス
○子爵大河内輝耕君 只今ノハ大體分リマ
シタガ、不正ト云フ中ニ不當利得ガ入ルヤ
ウニ御説明デアリマシタガ、ソコガ一點、ソ
レカラ實質ニ依ッテ兩者間ニ債權債務關係ヲ
生ジタル場合ニハ此ノ中ヘ入リマスカ入リマ
セヌカ、其ノ點、此ノ二點ヲ御答ヘ願ヒマス
(政府委員木暮武太夫君演壇ニ登ル)

○政府委員(木暮武太夫君) 御答ヘ申上ゲ
マス、只今ノ御質問ノ二點ハ、私ハ此ノ修
正シタ方ノ解釋ノ中ニ入ルコトニナルト思
ヒマス

○子爵大河内輝耕君 今一點伺ヒマスガ、
其ノ修正ハ勿論政府ニ於テ御同意ダト存ジ
マスガ、其ノ同意サレタ理由ヲ簡單デ宜シ
ウゴザイマスカラ御話ヲ願ヒマス

(政府委員木暮武太夫君演壇ニ登ル)

○政府委員(木暮武太夫君) 御答ヲ申上ゲ
マス、此ノ法律ハ委員長カラモ御説明申上
ゲマシタ通りニ、有價證券取引ノ安全性、
優先性ヲ確保スル、サウシテ段々近頃盛ニ
ナツテ參リマス有價證券取引ニ於キマス有
價證券業者ト顧客トノ間ニ起リマスル所ノ
紛爭ヲ解決致シマシテ、サウシテ動トモス
ルト資力ノ無イ、信用ノ無イ有價證券業者
ニ依ッテ此ノ有價證券ノ取引ガ誤ラレルト
云フコトヲ正サウト云フ法律デゴザイマス
ノデ、政府ト致シマシテハ原案ニ依リマシ
テ從來取引所法ニ於テ原案ト同ジ條文ガア
リマスノデ、實際問題トシテハ不正行為ニ
依リマシテ生ジタル損害ニ付テ、顧客ヲ保護
スルニモ何等實際問題トシテハ遺憾ノ點ハ
ナカッタノデゴザイマスケレドモ、法理上ハ、
必ズシモ契約違反ノ行為ト、而シテ不正行
爲ト云フモノガ竝行シテ參リマセヌノデ契
約違反デナクシテ不正行為ガ獨リ存在
シテ居ルト云フ考方モアリマスモノデスカ
ラ、御修正ニ對シテ廣ク顧客ノ利益ヲ保護
スルト云フ意味ニ於テ、別ニ反對スル理由

ハナク、御賛成申上ゲタ次第デゴザイマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 御發言ガナケレ
バ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會
ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス
○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス
○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス
○子爵植村家治君 贊成
○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會
ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通
リデ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス
○議長(伯爵松平賴壽君) 次會ノ議事日程
ハ、決定次第臺報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、
本日ハ是ニテ散會致シマス
午後三時三十一分散會